

# 景気動向調査結果

(平成29年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、平成 29 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 29 年 5 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、442 社（製造業 238 社（うち面接 64 社）、非製造業 204 社）で、回答率は 63.1 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2918）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 平成29年4月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、緩やかに回復しています。

製造業では、前回調査と比較して、堅調な海外需要にけん引され、一般機械、電機・電子を中心に受注、生産が回復し、全体として13.5ポイント改善し、平成27年4月以来、2年ぶりのプラス水準となりました。

非製造業では、前回調査と比較して、建設業は悪化したものの、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業の業況が改善したため、全体の業況は改善しました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（28年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は8.4となり、前回調査時（29年1月）の△5.1より13.5ポイント改善しました。

3か月前（29年1月）と比較したD Iは15.9となり、前回調査時の△1.3より17.2ポイント改善し、8期ぶりのプラス水準となりました。

また、3か月後（29年7月）の予想では、設備投資の増加への期待感などを背景に、D Iは3.3となり、2期連続のプラス水準となりました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連が低調に推移しているものの、スマートフォン向けの需要が持ち直しています。プリンターは、新興国での需要が増加したものの、北米での需要が減少したため、受注、生産に一服感がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連や半導体関連向けは、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産に持ち直しがみられます。建設機械は、国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米向けなどで受注、生産が回復しています。

ウ 精密では、時計はインバウンド需要の減少に伴い、受注、生産に一服感がみられます。レンズは、自動車関連向けで受注、生産に持ち直しがみられるほか、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部が持ち直しています。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産に持ち直しがみられるほか、LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。

エ 自動車部品では、海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けで受注、生産に弱さがみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、清酒は消費の低迷により低調に推移しているものの、ワインでは受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が41.9%と前回(32.3%)より増加し、「減少」とする企業が24.6%と前回(28.5%)より減少した結果、D Iは前回(3.8)から改善し、17.3となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が36.4%と前回(23.9%)より増加し、「減少」とする企業が10.6%と前回(26.5%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta 2.6$ )から大幅に改善し、25.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.3%、「減少」とする企業が19.1%となった結果、D Iは前回予想(10.3)より悪化し、1.2となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が43.2%と前回(33.2%)より増加し、「減少」とする企業が24.2%と前回(28.9%)より減少した結果、D Iは前回(4.3)より改善し、19.0となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が36.9%と前回(20.1%)より増加し、「減少」とする企業が13.1%と前回(30.3%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta 10.2$ )より大幅に改善し、23.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が22.5%、「減少」とする企業が17.8%となった結果、D Iは前回予想(7.7)より悪化し、4.7となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が5.5%と前回(4.7%)よりやや増加し、「安い」とする企業が18.6%と前回(26.7%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta 22.0$ )より改善し、 $\Delta 13.1$ となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が4.6%と前回(3.8%)よりやや増加し、「安い」とする企業が10.1%と前回(9.4%)よりやや増加した結果、D Iは前回( $\Delta 5.6$ )とほぼ同じ $\Delta 5.5$ となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.5%、「安い」とする企業が11.4%となった結果、D Iは前回予想( $\Delta 12.1$ )より改善し、 $\Delta 8.9$ となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が前回(11.7%)と同じ11.7%となり、「苦しい」とする企業が11.3%と前回(15.7%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta 4.0$ )より改善し、0.4となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が9.5%と前回(7.0%)より増加し、「苦しい」とする企業が8.7%と前回(8.3%)よりやや増加した結果、D Iは前回( $\Delta 1.3$ )より改善し、0.8となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が7.0%、「苦しい」とする企業が10.4%となった結果、D Iは前回予想( $\Delta 6.1$ )より改善し、 $\Delta 3.4$ となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が24.5%と前回(22.5%)より増加し、「低下」とする企業が24.9%と前回(28.4%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta 5.9$ )より改善し、 $\Delta 0.4$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が13.5%と前回(14.5%)よりやや減少し、「低下」とする企業が15.6%と前回(20.4%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta 5.9$ )より改善し、 $\Delta 2.1$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が7.6%、「低下」とする企業が19.4%となった結果、D Iは前回予想( $\Delta 6.4$ )より悪化し、 $\Delta 11.8$ となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は低調に推移しています。  
プリンターは、新興国での需要が増加したものの、北米での需要が減少したため、受注、生産に一服感がみられます。
- (半導体関連) デジタル家電向けで、受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連向けで、海外需要にけん引され堅調に推移しているほか、産業用途で受注、生産が持ち直しています。
- (プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けが持ち直しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が回復しているほか、家電向けで、需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が低調に推移しています。
- (モーター等) 家電向けは、受注、生産が低調に推移しているものの、産業用途や自動車関連向けは、海外を中心とした需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。
- (その他) カーナビゲーションは、北米で続く好調な需要により、受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

### 一般機械

- (工作機械) 自動車関連や半導体関連向けは、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産に持ち直しがみられます。
- (金 型) 自動車関連向けでは、国内需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米向けなどで受注、生産が回復しています。
- (農業用機械等) 国内向けで季節的要因により、受注、生産が持ち直したほか、北米や欧州の海外向けで、受注、生産に持ち直しがみられます。

精 密	
(時 計)	腕時計は、インバウンド需要の減少に伴い、受注、生産に 一服感がみられます。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで受注、生産に持ち直しがみられるほか、 プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部が持ち直 しています。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産に持ち 直しがみられるほか、LPガスメーターは、取替需要等によ り受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	海外向けは、北米などで受注、生産が堅調に推移しているもの の、国内向けで受注、生産に弱さがみられます。
食 料 品	
(味 そ)	季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加して います。
(酒 類)	清酒は、消費の低迷により低調に推移しているものの、ワ インでは受注、生産に持ち直しがみられます。
(飲 料)	季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産 が増加しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により受注、生産が増加しています。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生 産が増加しています。
印 刷	季節的要因により受注、生産が増加していますが、印刷・ 製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生 産に持ち直しがみられます。

## 3 非製造業

### 業界の業況

前年同期（28年4月）と比較したD Iは $\Delta 20.3$ となり、前回調査時（29年1月）の $\Delta 36.4$ から16.1ポイント改善しました。

3か月前（29年1月）と比較したD Iは2.5となり、前回調査時の $\Delta 39.6$ と比較すると42.1ポイント改善し、調査を開始した23年以来初のプラス水準となりました。

なお、3か月後（29年7月）の予想は、D Iが $\Delta 11.5$ と前回調査時の予想の $\Delta 16.5$ と比較すると5.0ポイント上昇する見通しです。

### 〔各業種の動き〕

#### ア 建設業

建設業では、公共工事の発注量の減少などにより、客数（受注件数）D I、収益率D I等が悪化したことから、業況D Iは $\Delta 13.8$ と前回（3.3）より悪化しました。

3か月後は、売上高D I、客数（受注件数）D Iの上昇により、業況D Iは上昇が予想されます。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業では、法人需要の増加などにより、売上高D I、収益率D I等が改善したことから、業況D Iは $37.5$ と前回（ $\Delta 9.1$ ）より大幅に改善しました。

3か月後は、客数（受注件数）D I、販売価格D Iの上昇により、業況D Iは上昇が予想されます。

#### ウ 小売業

小売業では、消費回復の動きが一部で見られるなど、売上高D I、収益率D I等が改善したことから、業況D Iは $\Delta 27.3$ と前回（ $\Delta 49.0$ ）より大幅に改善しました。

3か月後は、販売価格D Iの低下により、業況D Iは低下が予想されます。

#### エ 卸売業

卸売業では、取引先の拡大などにより、売上高D I、客数（取引先数）D I等が改善したことから、業況D Iは $\Delta 27.3$ と前回（ $\Delta 31.9$ ）より改善しました。

3か月後は、客数（取引先数）D I、収益率D I等の上昇により、業況D Iは上昇が予想されます。

#### オ 飲食業

飲食業では、客数の増加などにより、客数D I、収益率D I等が改善したことから、業況D Iは $\Delta 15.8$ と前回（ $\Delta 45.4$ ）より大幅に改善しました。

3か月後は、売上高D I、収益率D I等の上昇により、業況D Iは上昇が予想されます。

#### カ 宿泊業

宿泊業では、客数の増加などにより、客数D I、収益率D I等が改善したことから、業況D Iは $\Delta 7.2$ と前回（ $\Delta 41.7$ ）より大幅に改善しました。

3か月後は、客数D I、収益率D I等の低下により、業況D Iは低下が予想されます。

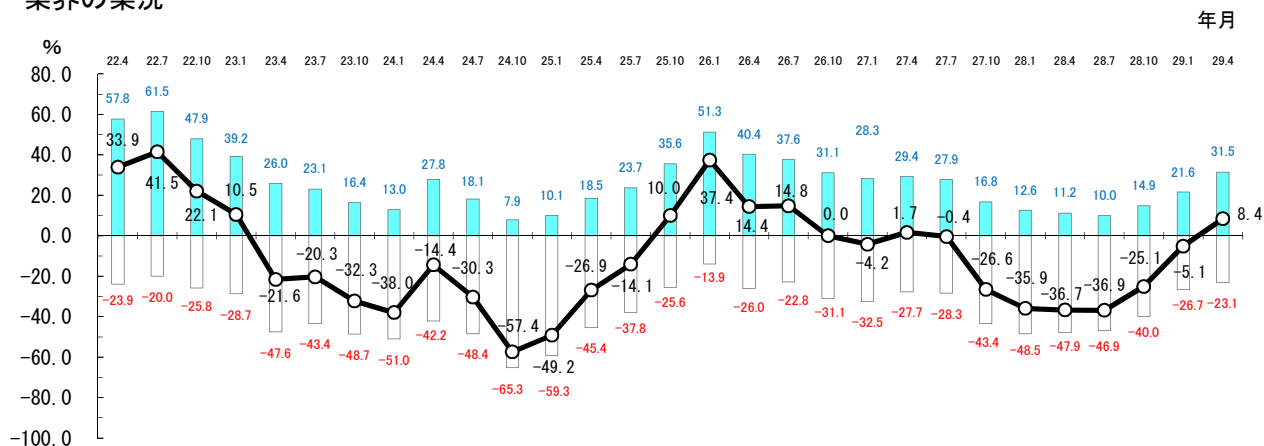
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。  
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

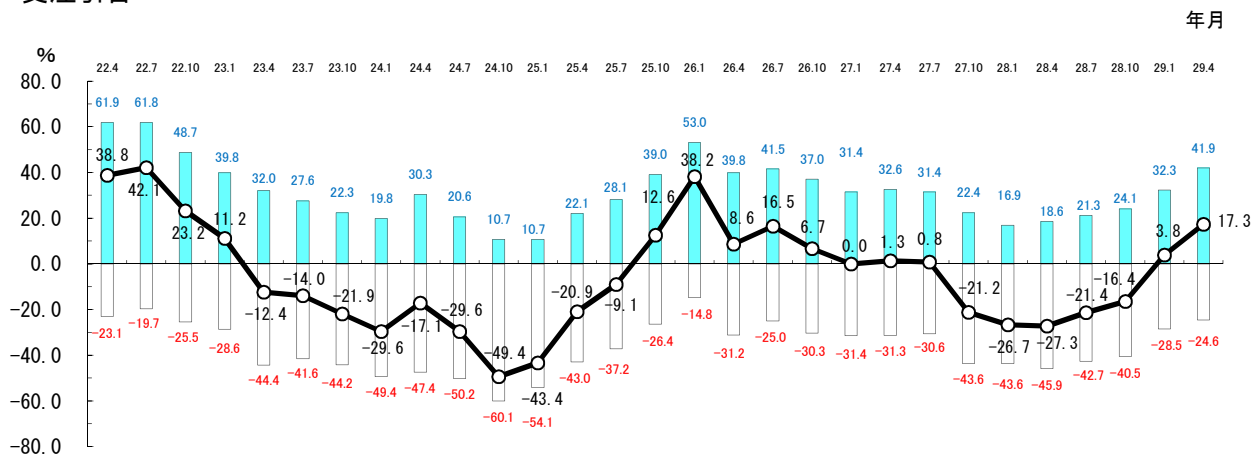
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

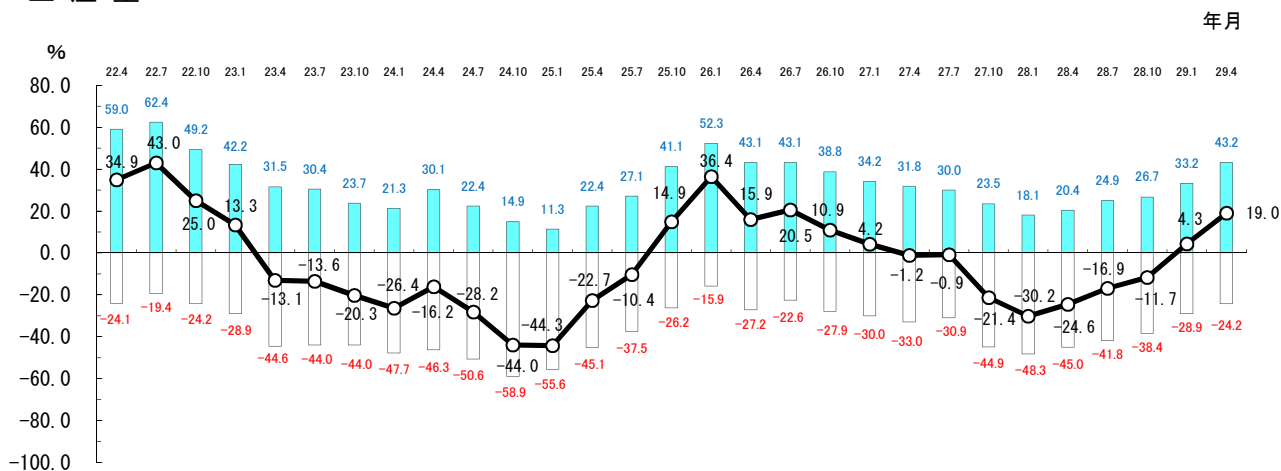
#### 業界の業況



#### 受注引合



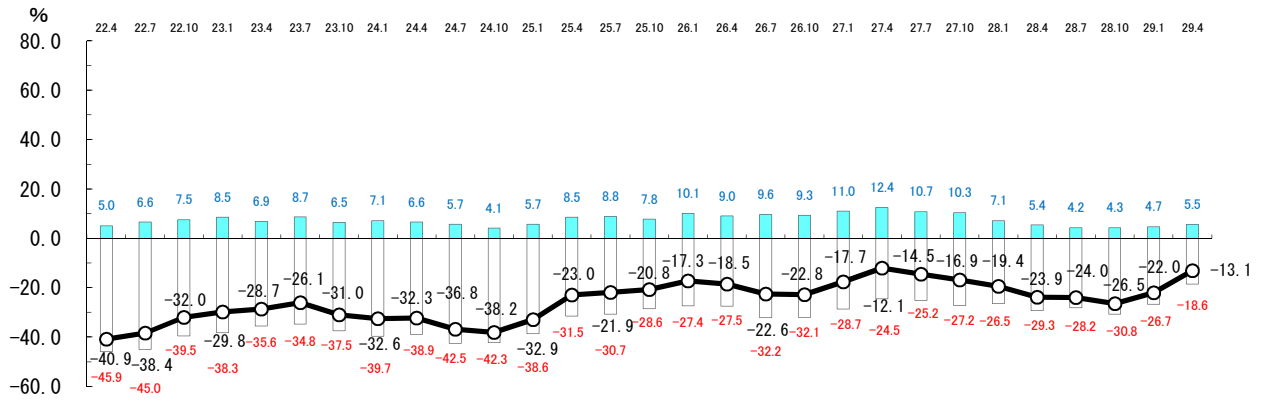
#### 生産量





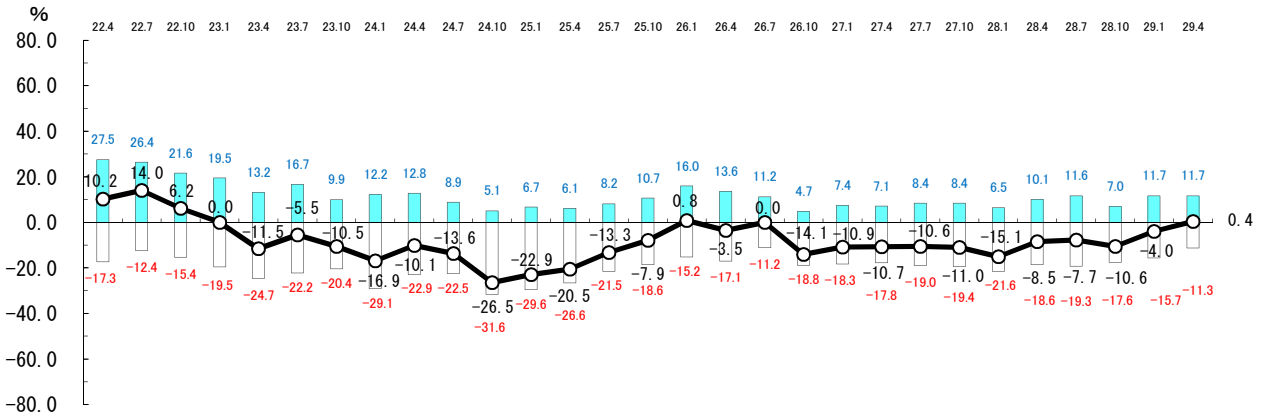
### 製品販売価格

年月



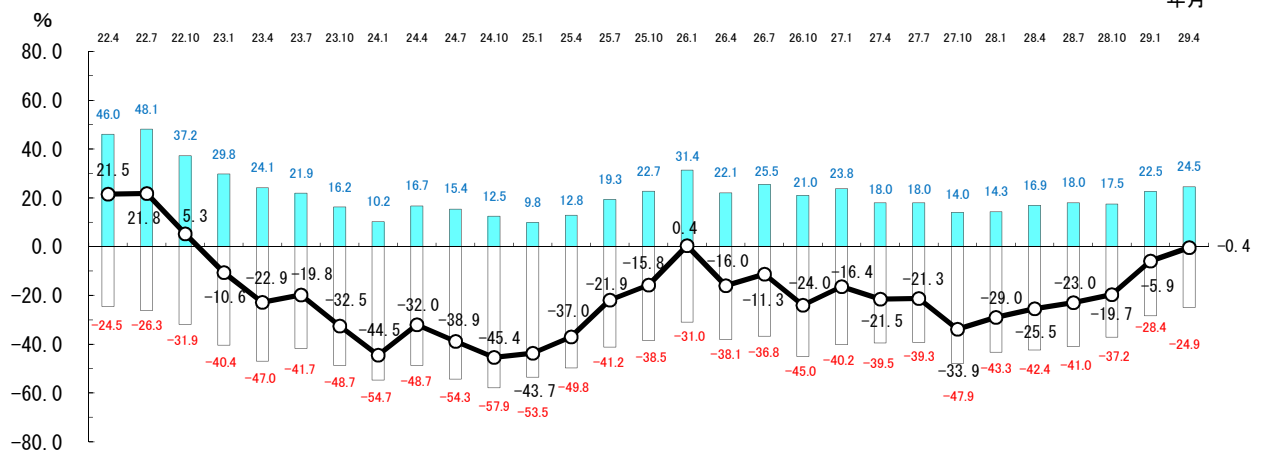
### 資金繰り

年月



### 収益率

年月

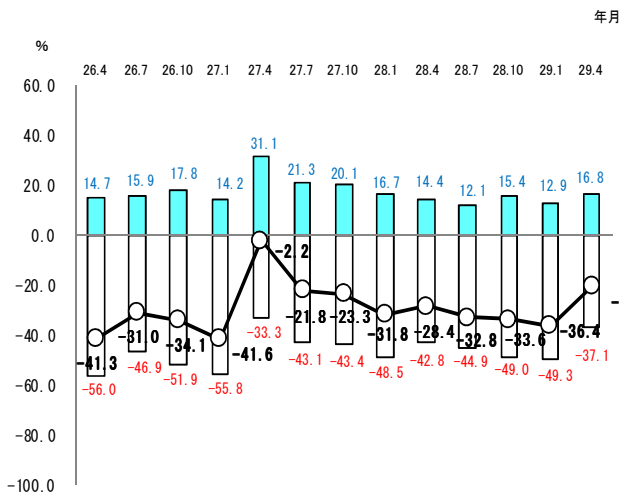




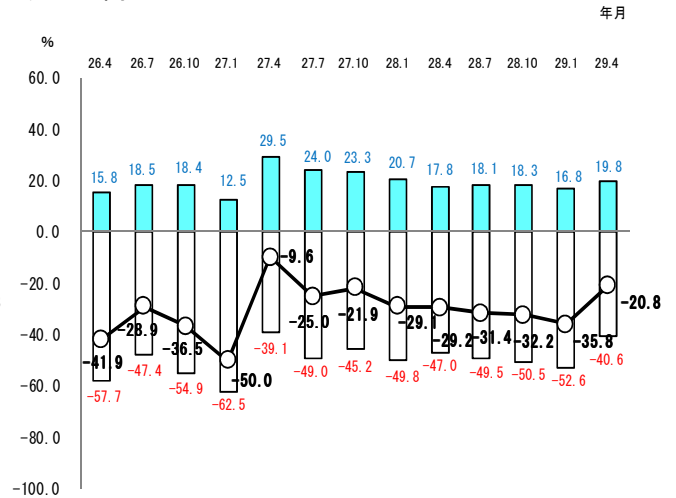
# (1) 前年同期に比べて

## 非製造業全体

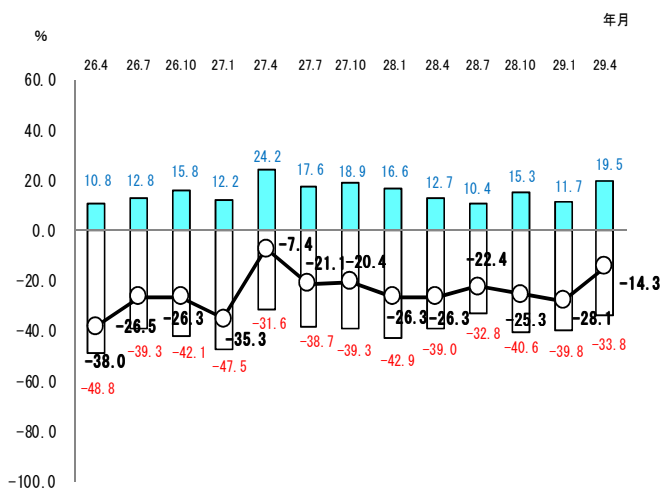
### 業況



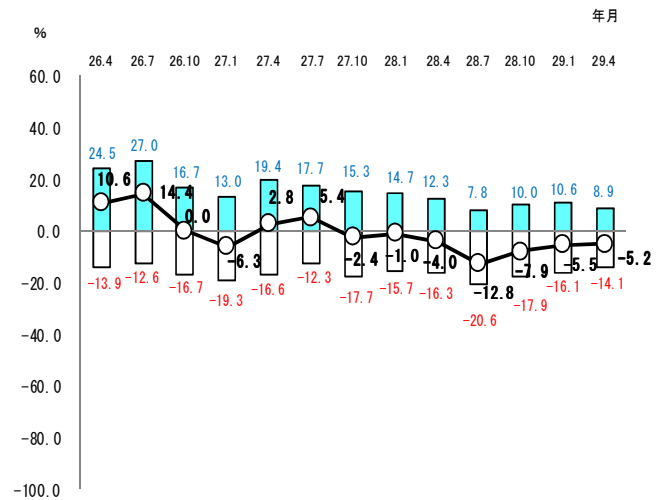
### 売上高



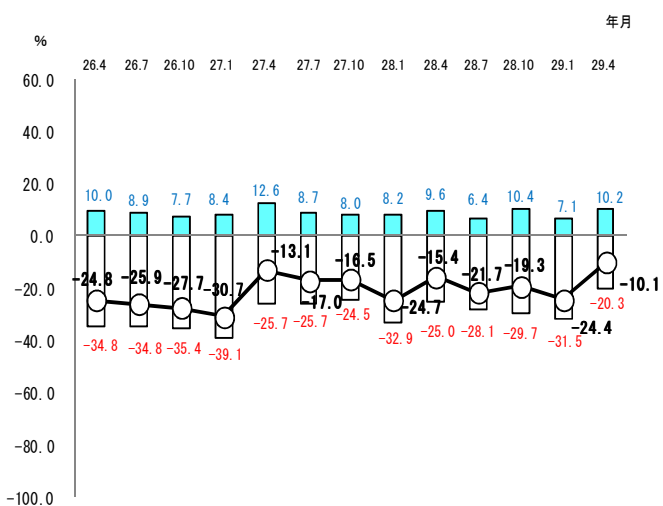
### 客数 (受案件数)



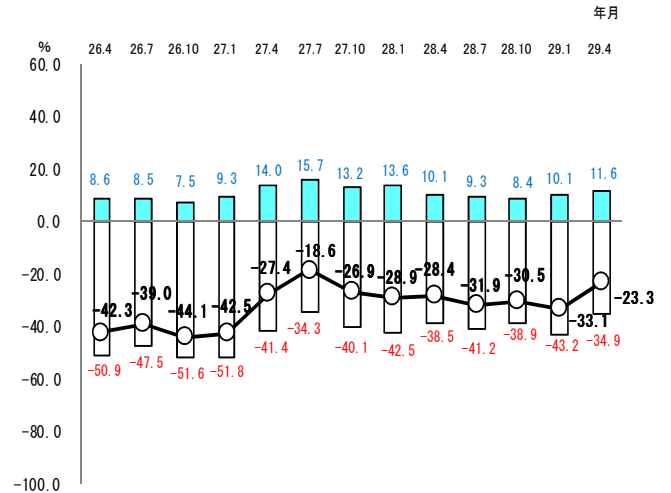
### 販売価格



### 資金繰り

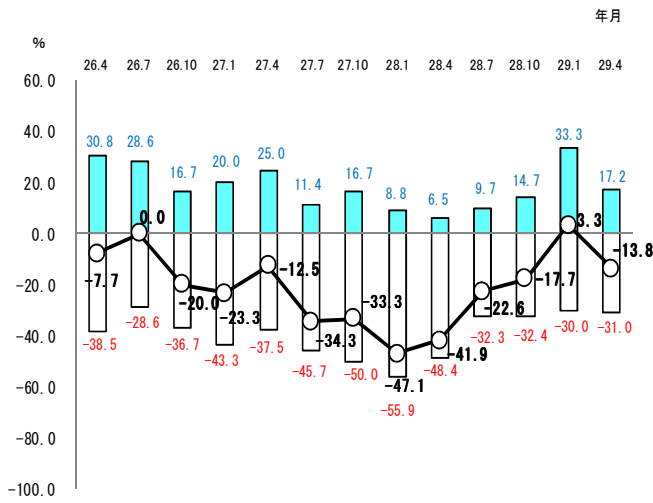


### 収益率

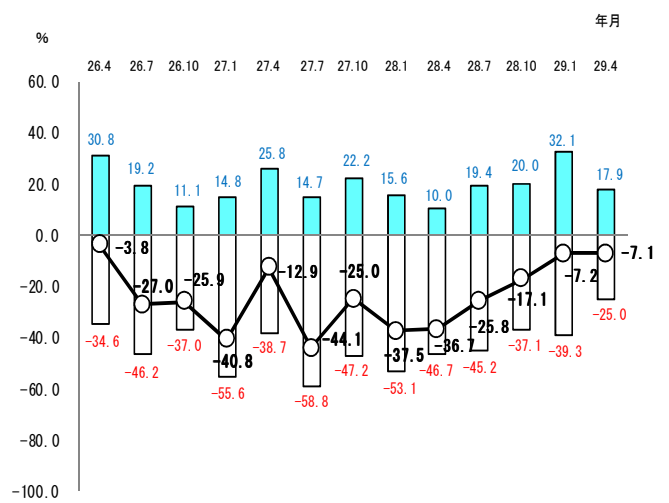


# ア 建設業

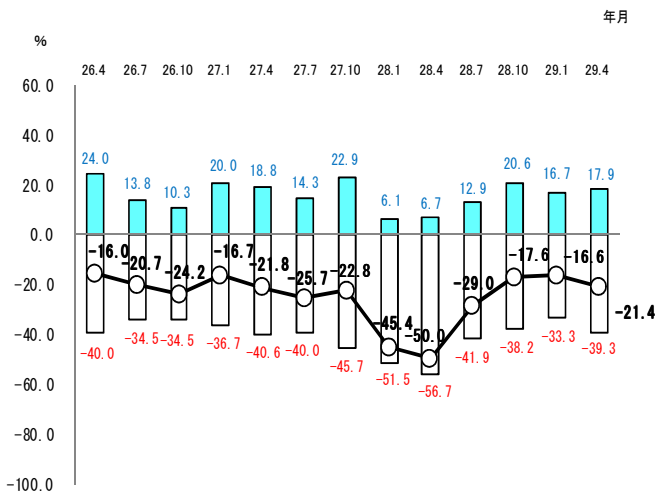
## 業況



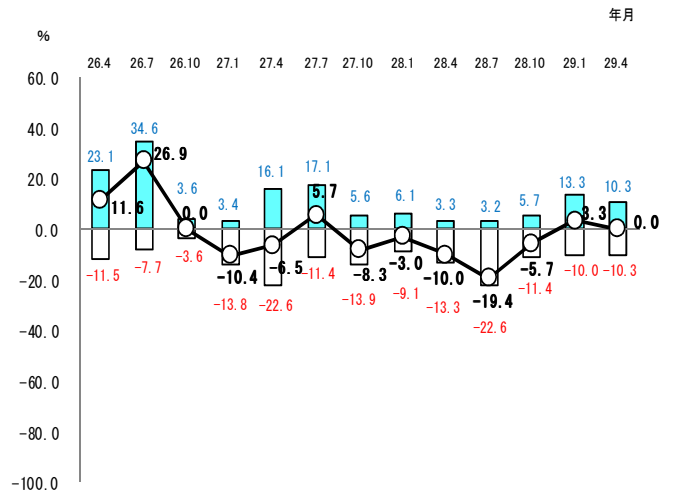
## 売上高



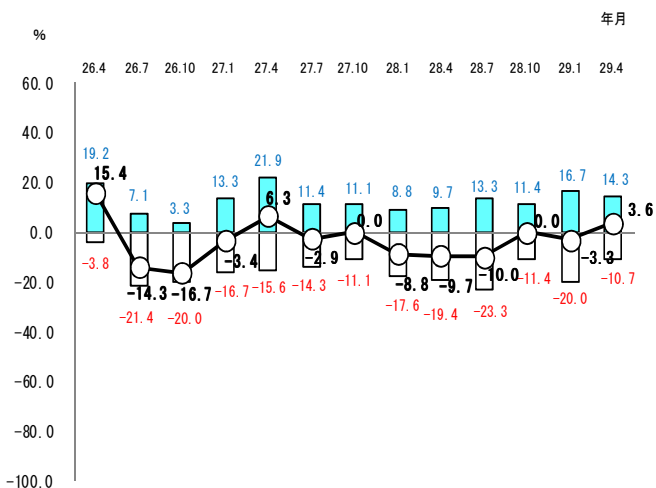
## 客数 (受注件数)



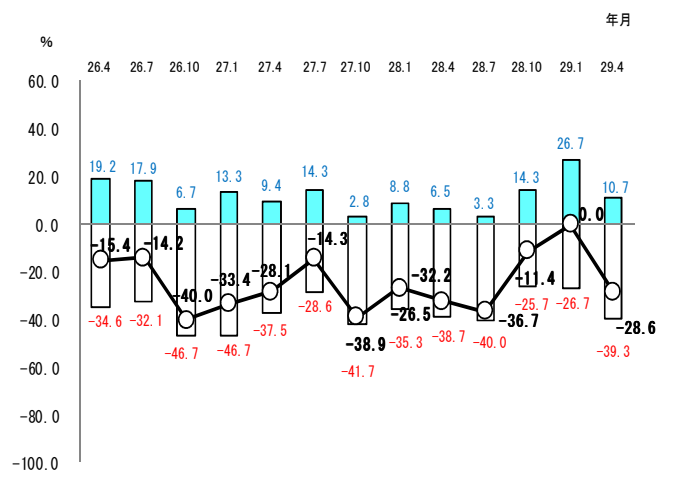
## 販売価格



## 資金繰り

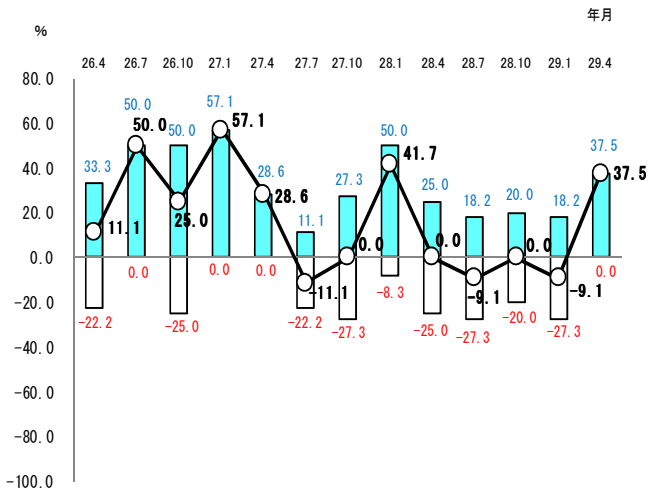


## 収益率

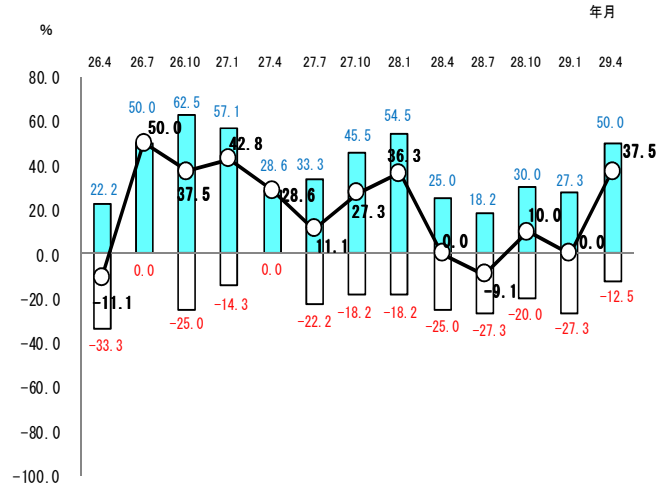


# イ 情報サービス業

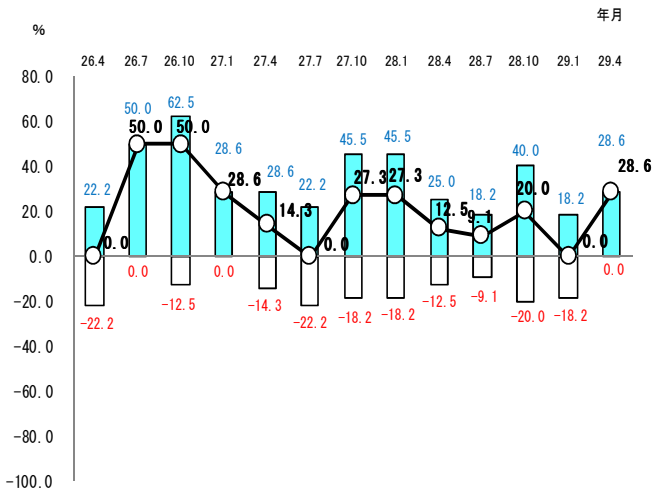
## 業況



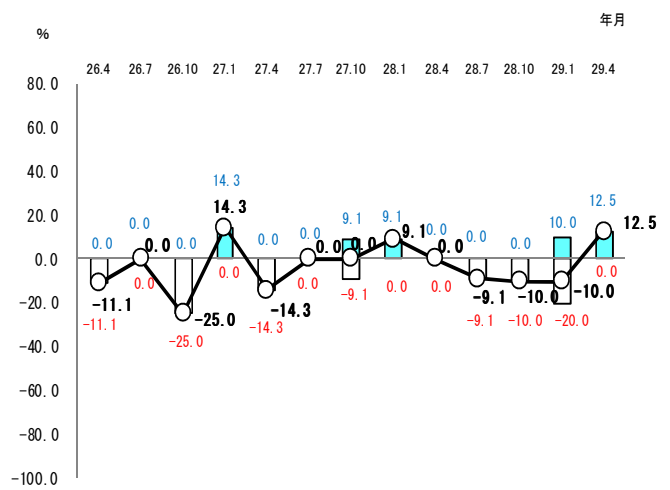
## 売上高



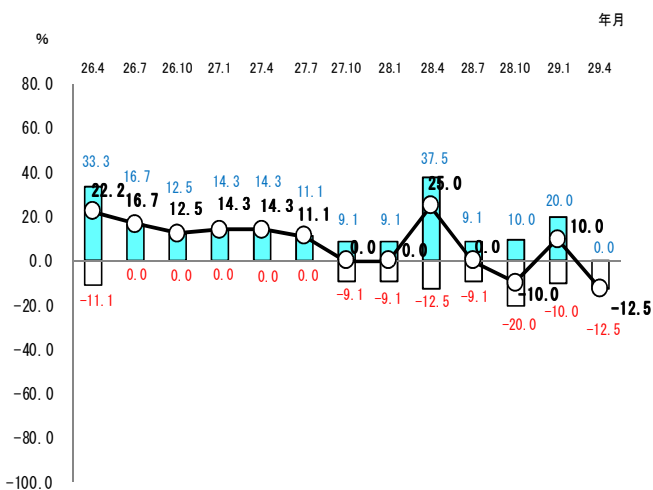
## 客数 (受注件数)



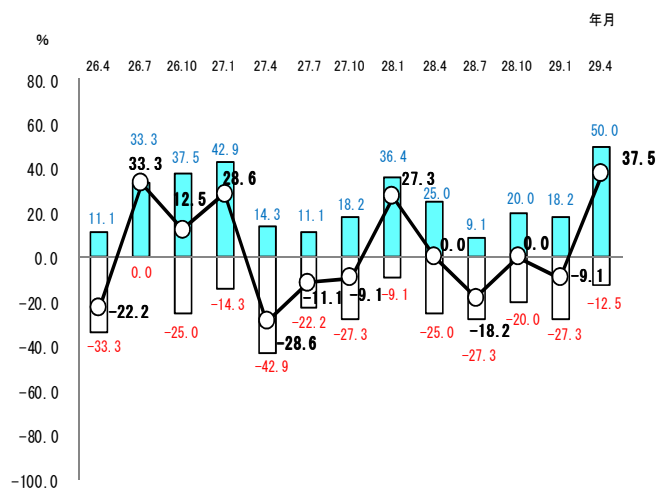
## 販売価格



## 資金繰り

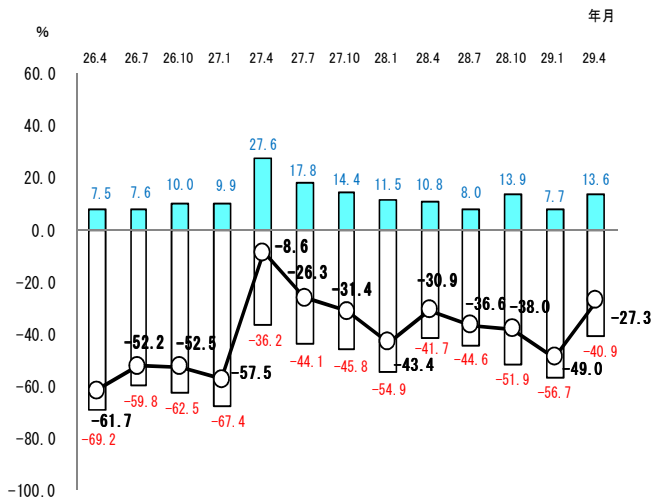


## 収益率

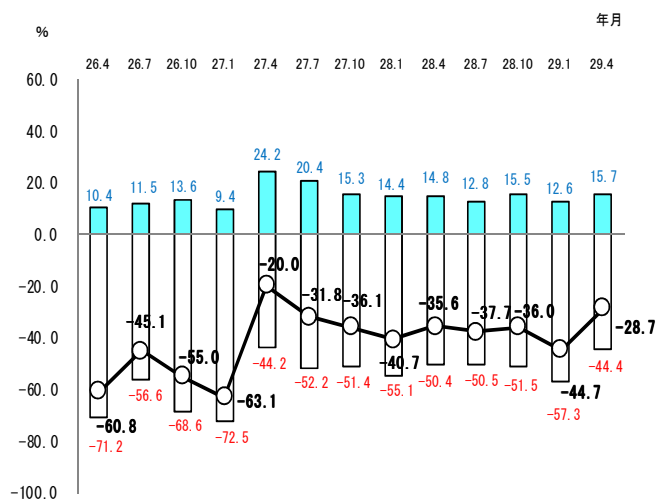


# ウ 小売業

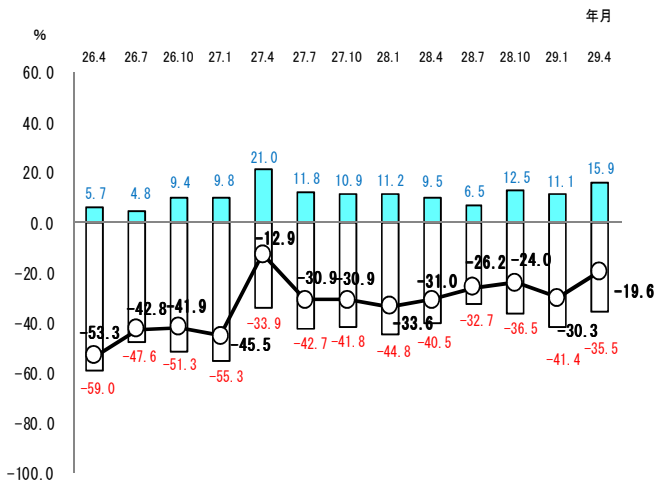
## 業況



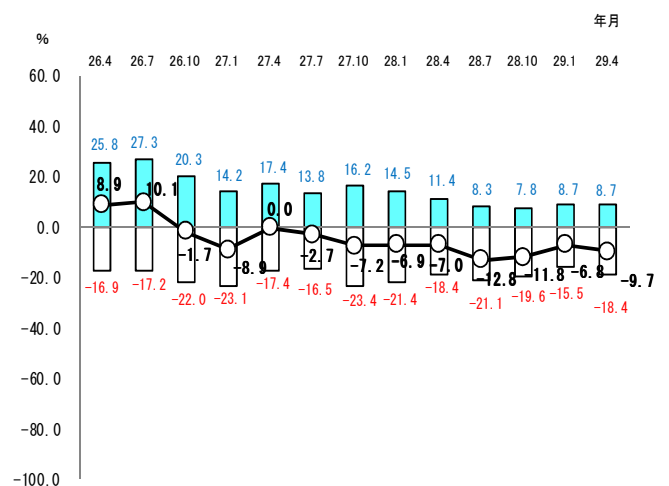
## 売上高



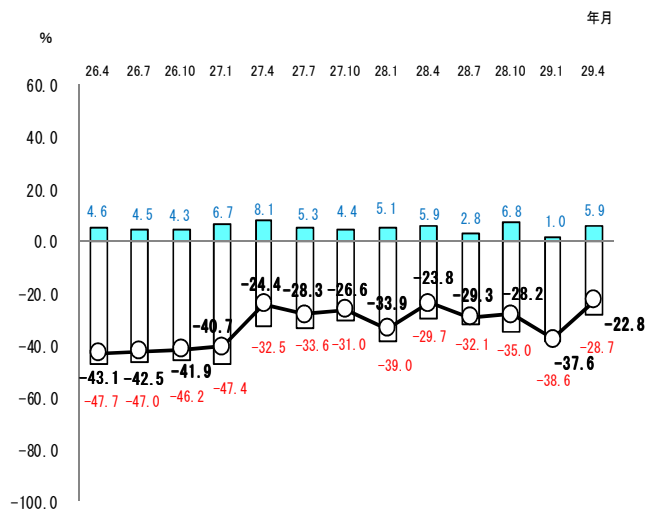
## 客数



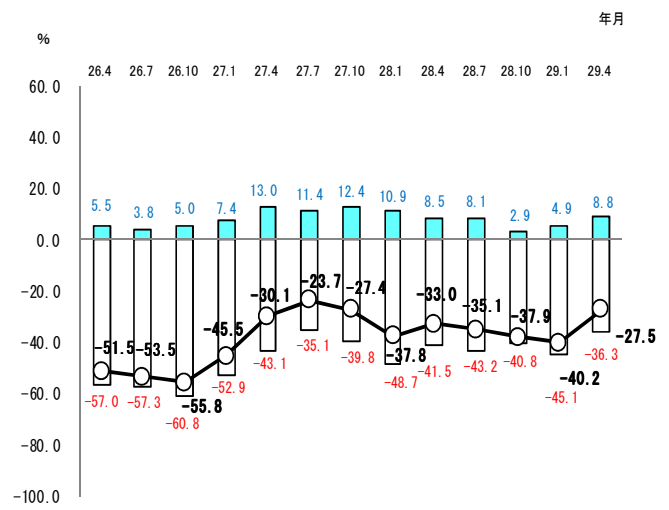
## 販売価格



## 資金繰り

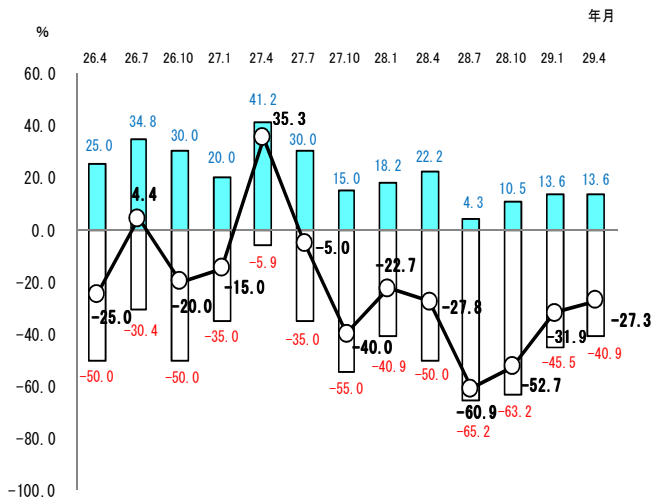


## 収益率

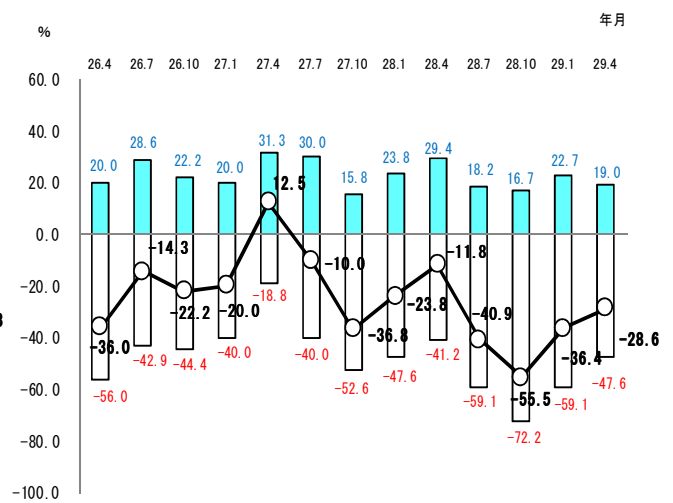


# 工 卸売業

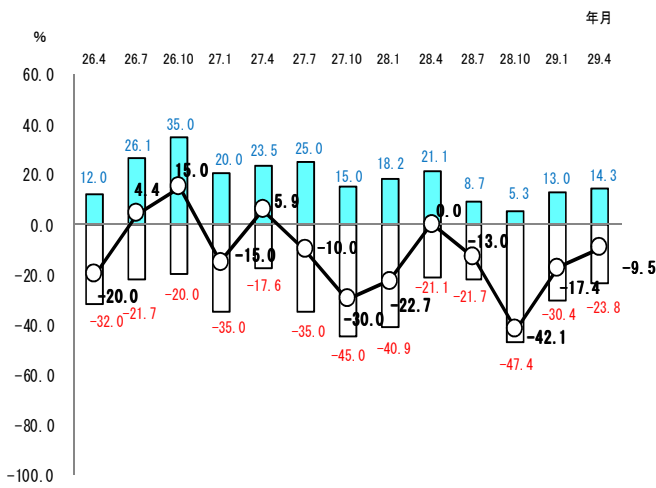
## 業況



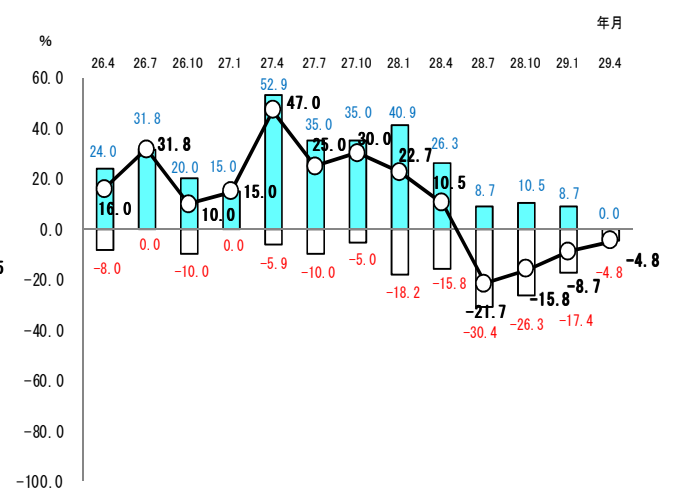
## 売上高



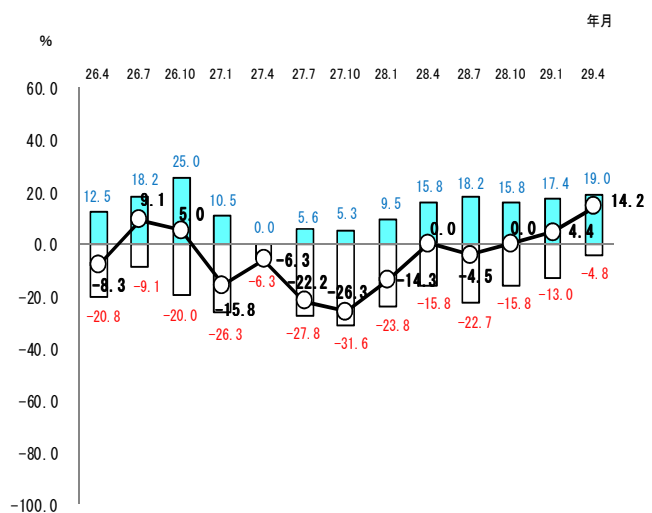
## 客数 (取引先数)



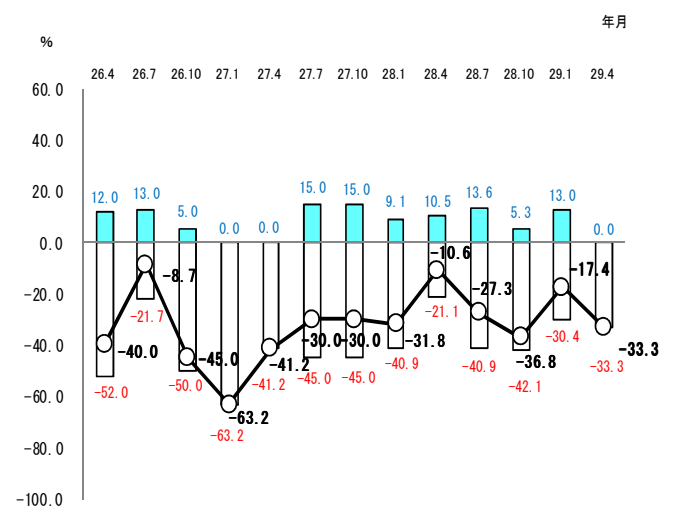
## 販売価格



## 資金繰り

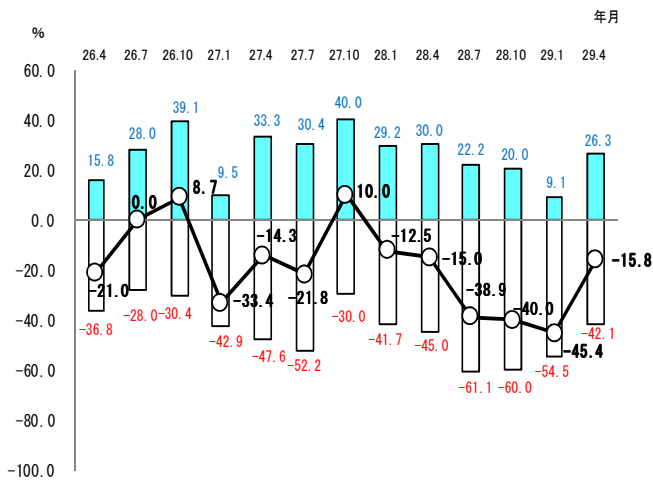


## 収益率

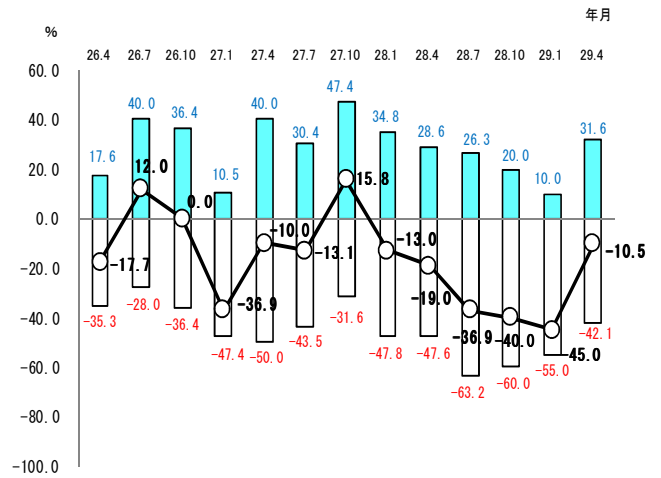


# 才 飲食業

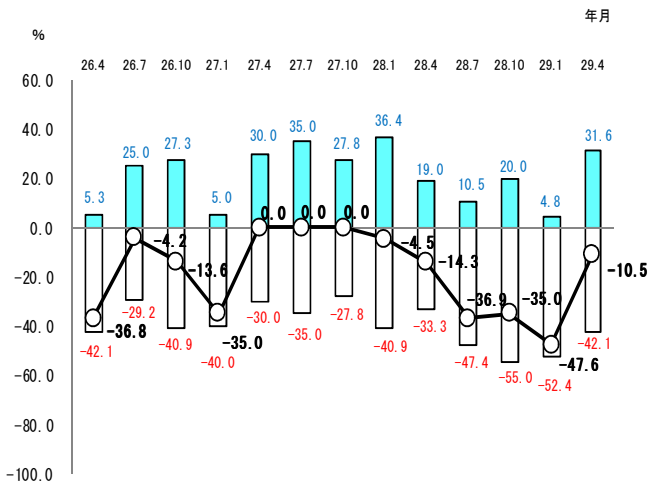
## 業況



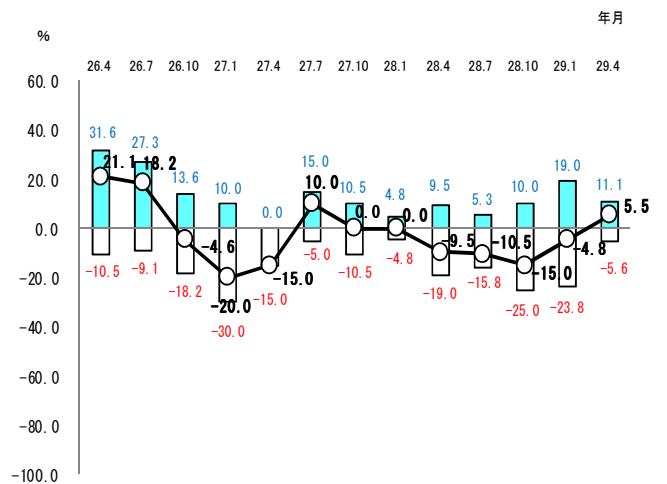
## 売上高



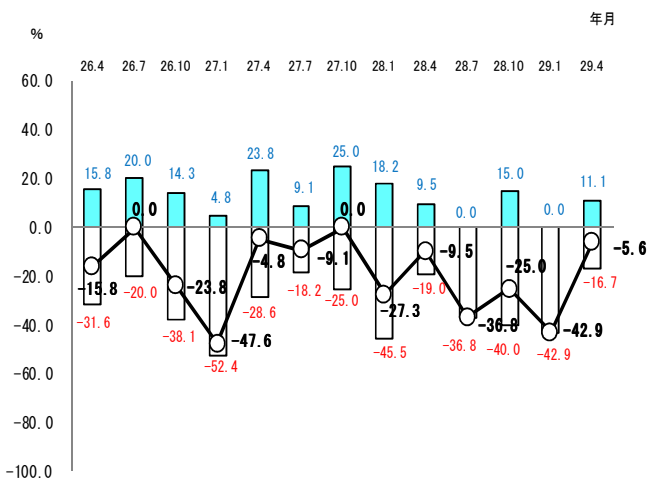
## 客数



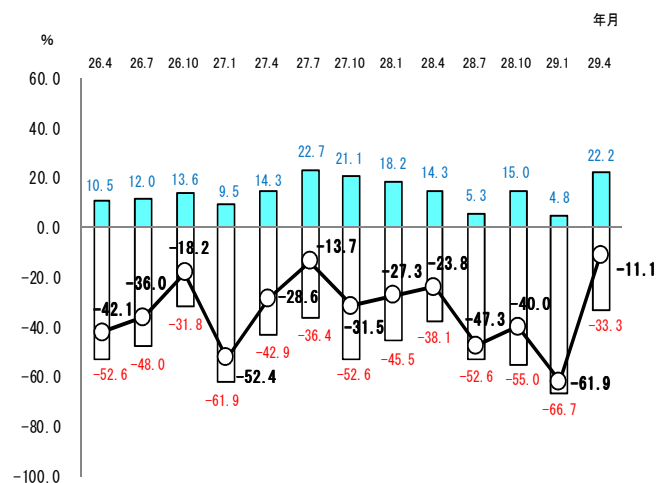
## 販売価格



## 資金繰り



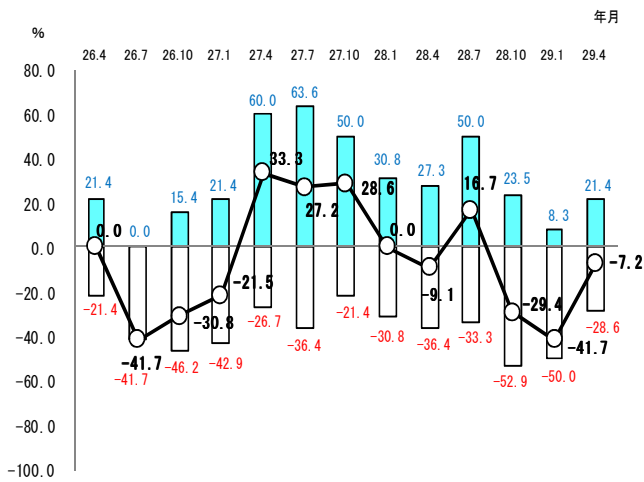
## 収益率



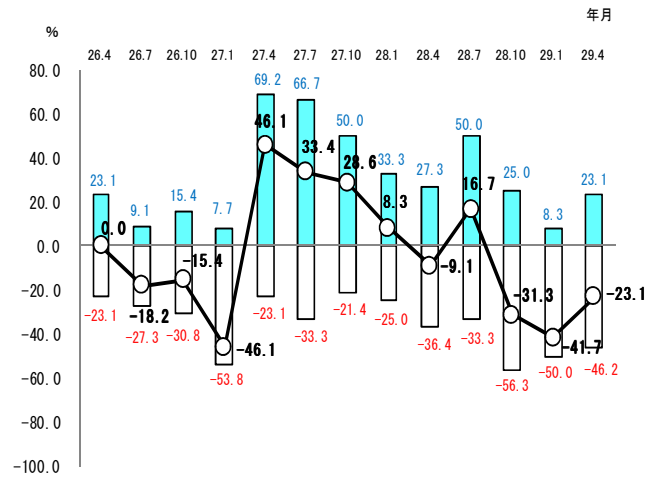


# 力 宿泊業

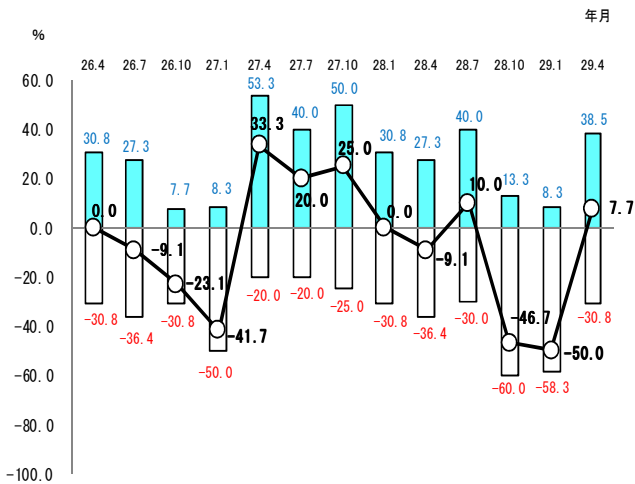
## 業況



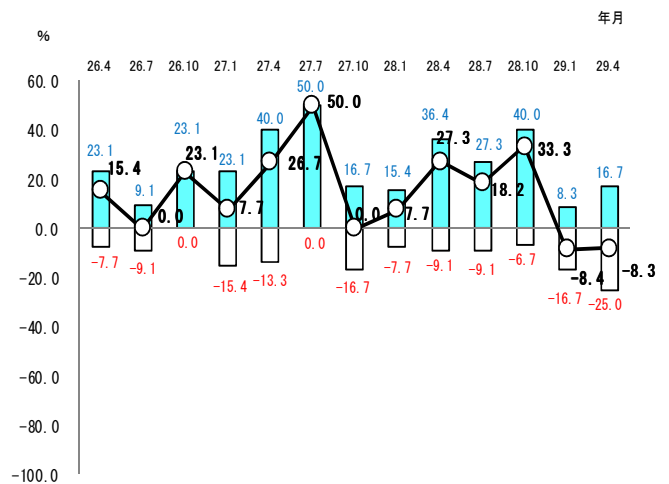
## 売上高



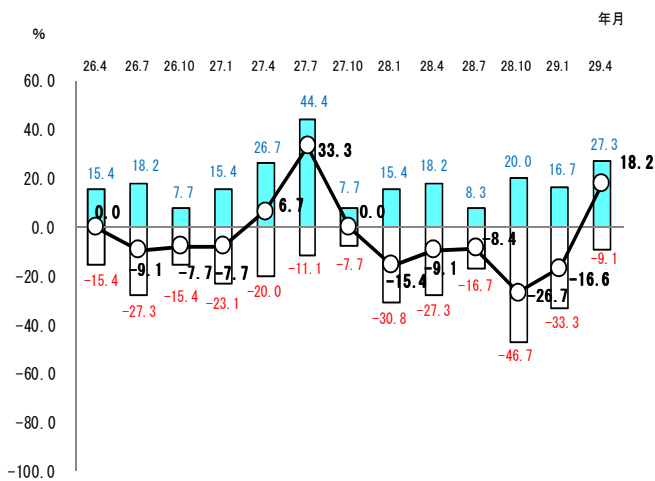
## 客数



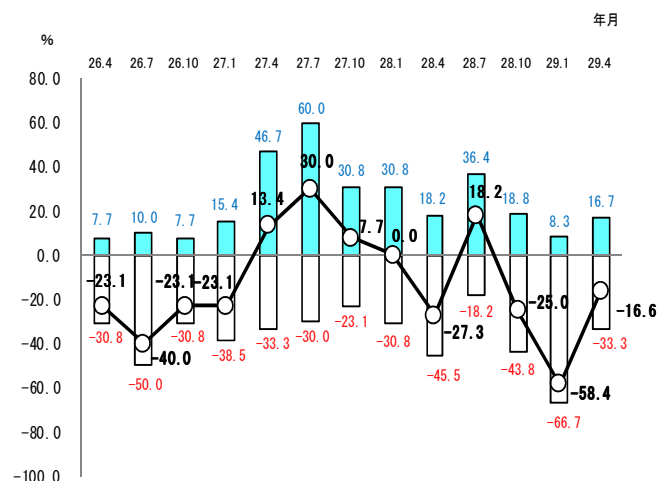
## 販売価格



## 資金繰り

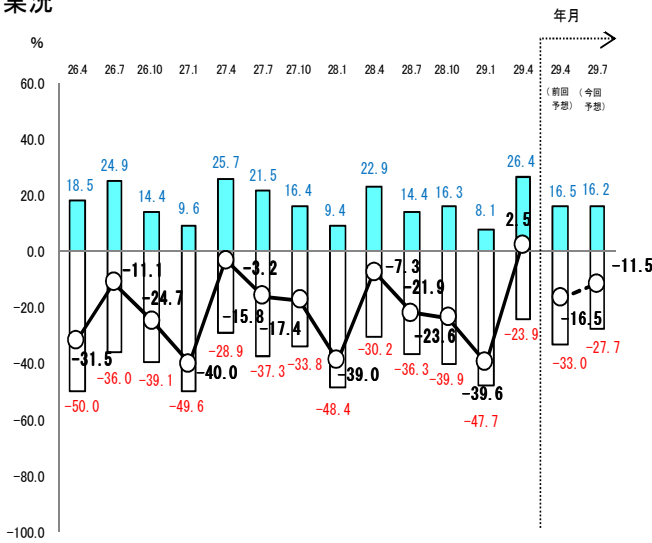


## 収益率

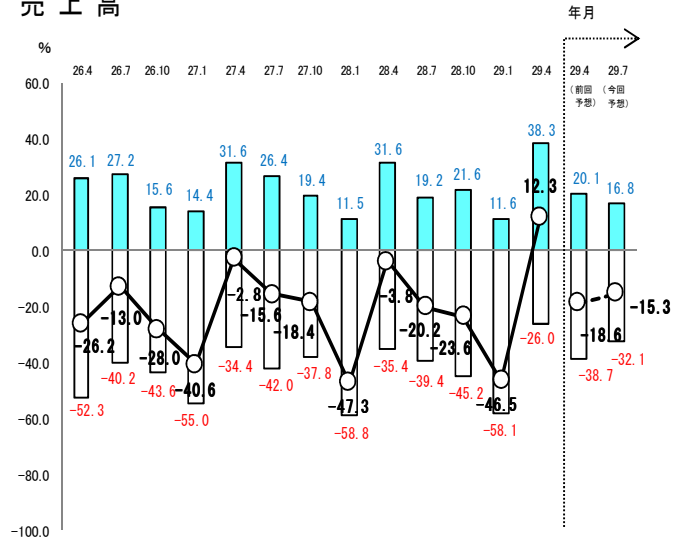


## (2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想 非製造業全体

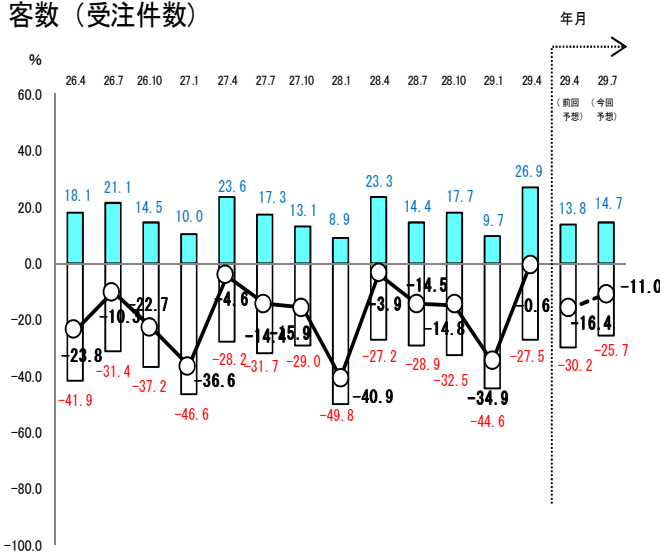
### 業況



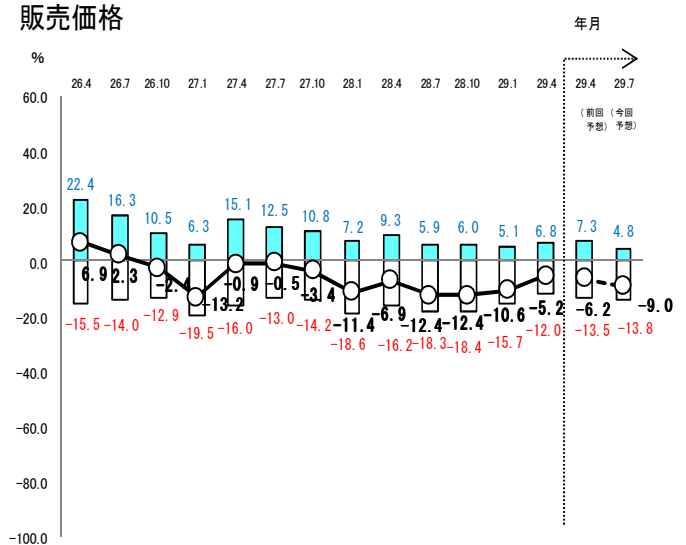
### 売上高



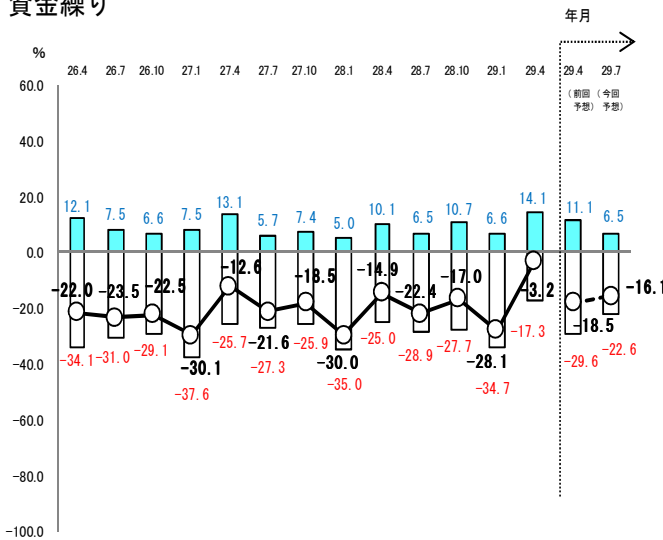
### 客数 (受注件数)



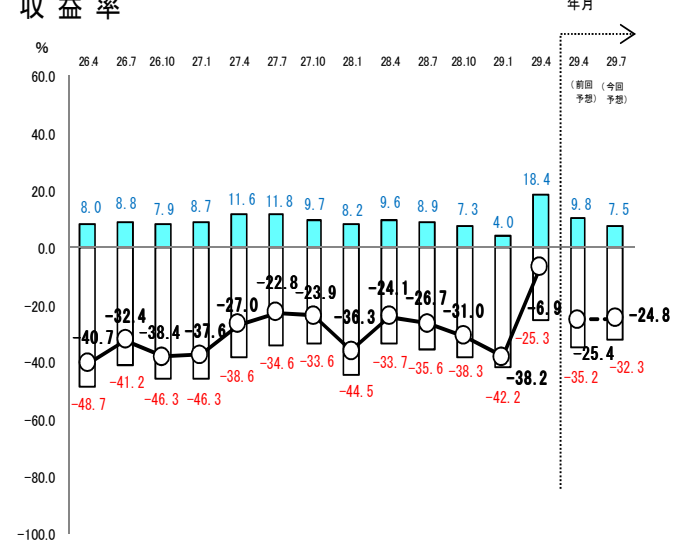
### 販売価格



### 資金繰り

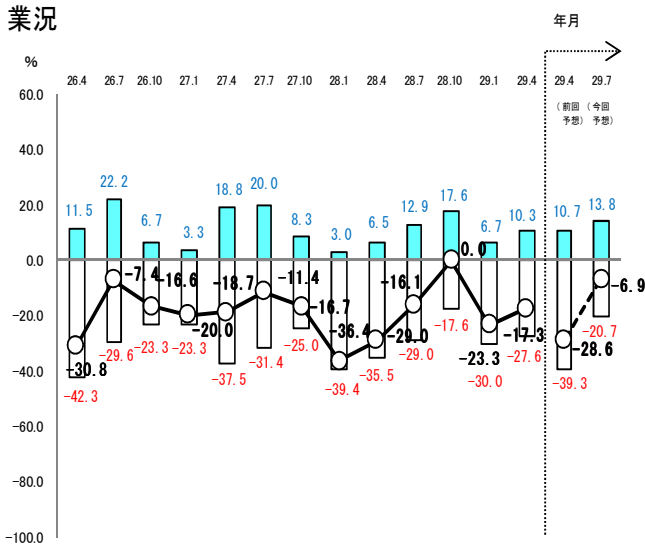


### 収益率

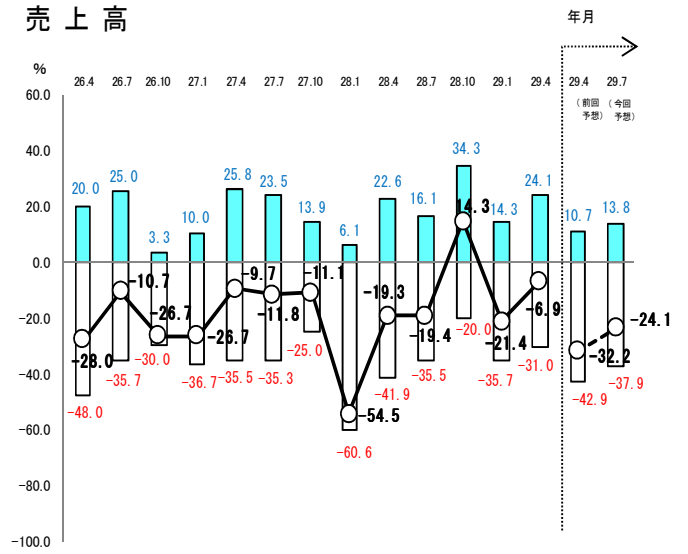


# ア 建設業

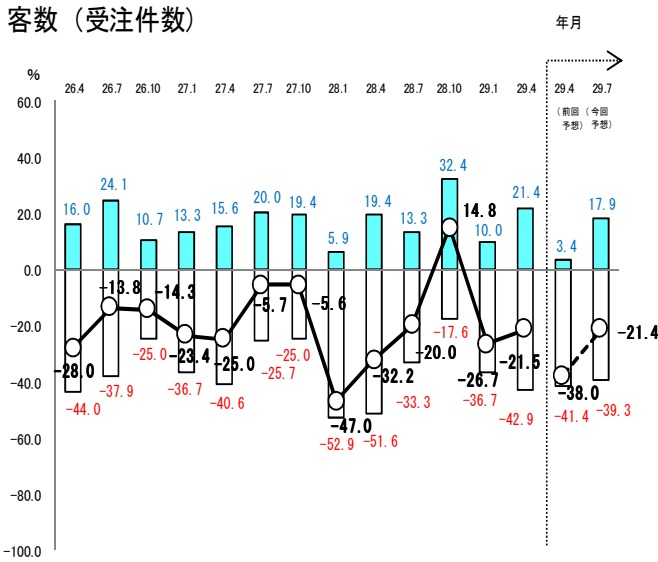
## 業況



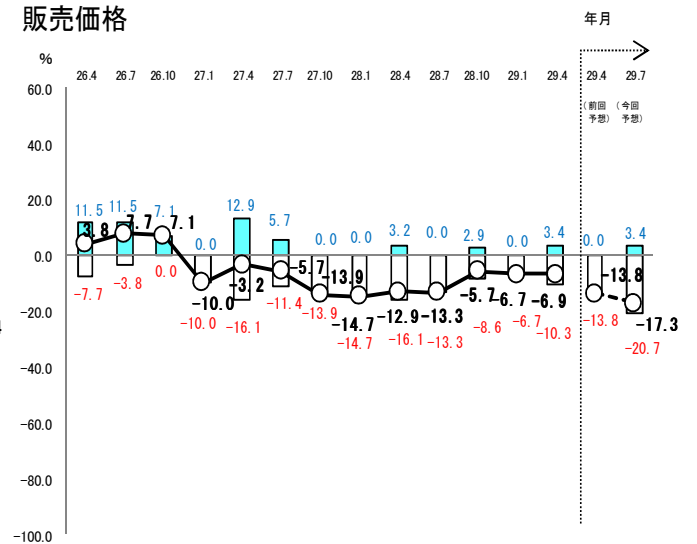
## 売上高



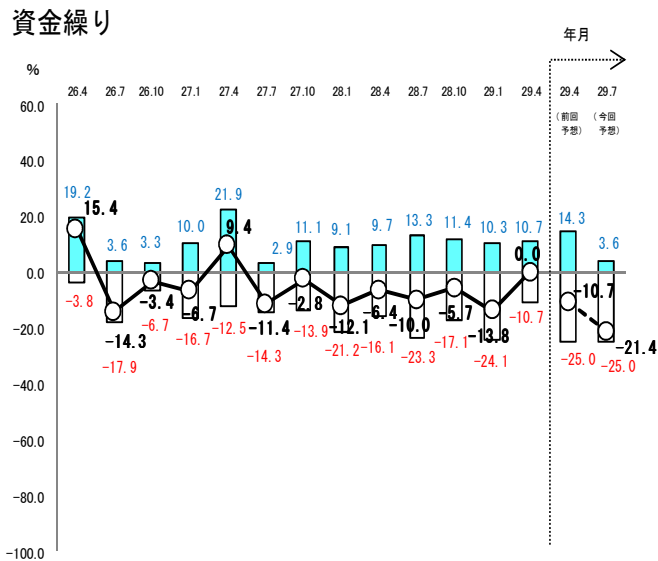
## 客数 (受注件数)



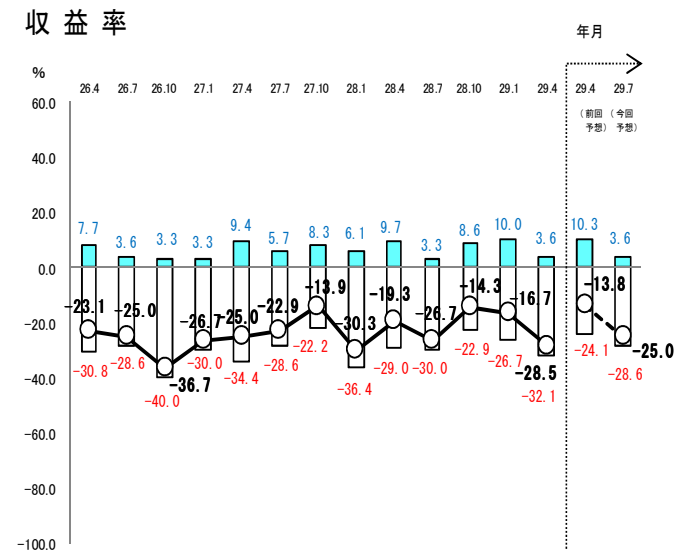
## 販売価格



## 資金繰り

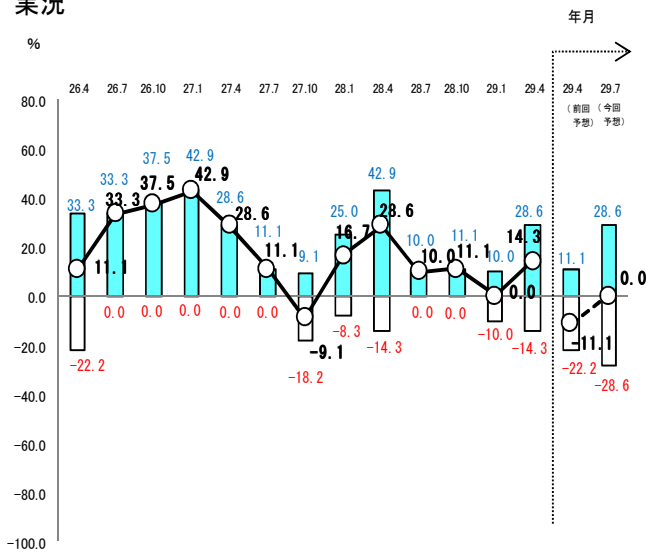


## 収益率

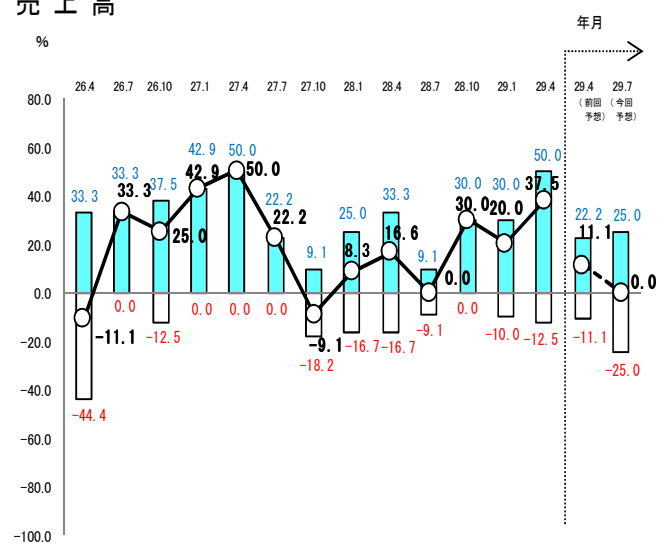


# イ 情報サービス業

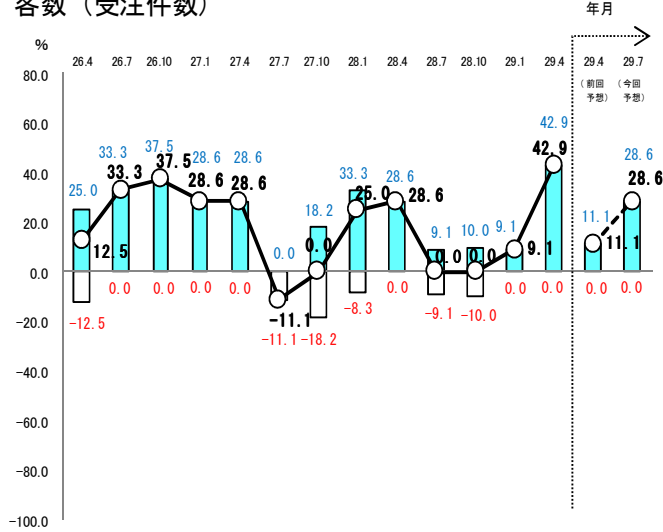
## 業況



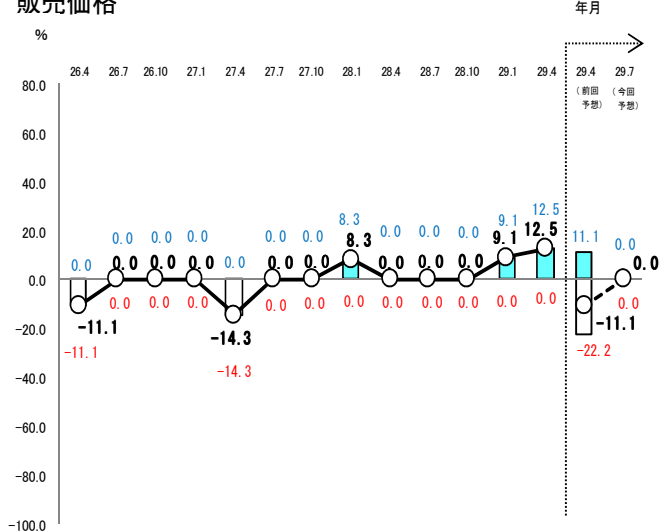
## 売上高



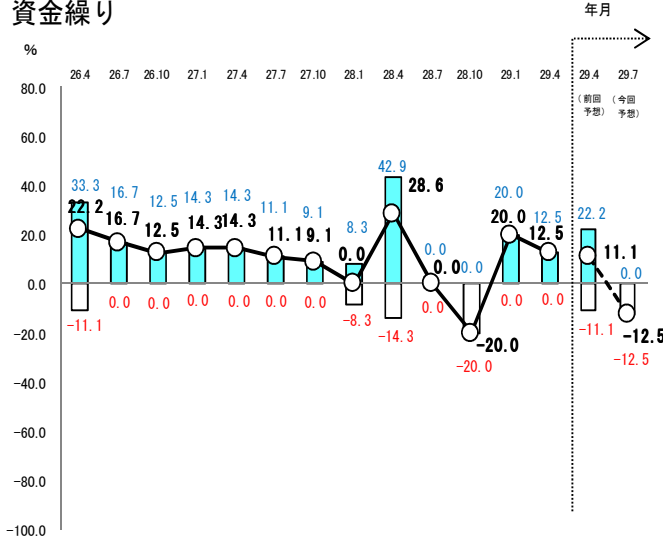
## 客数 (受案件数)



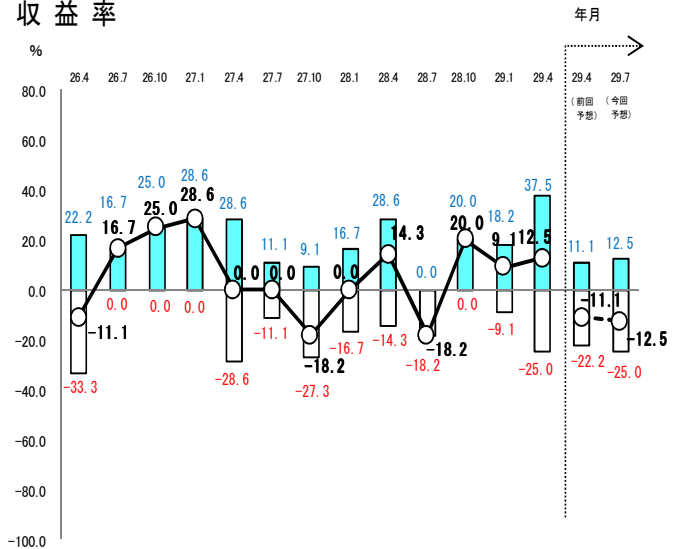
## 販売価格



## 資金繰り

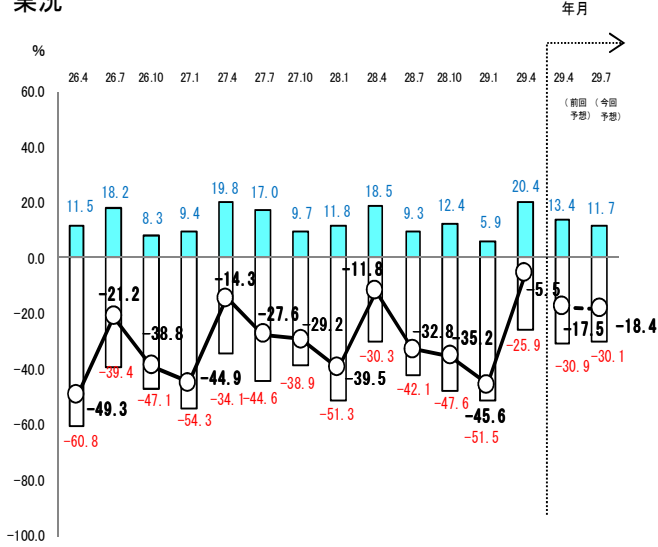


## 収益率

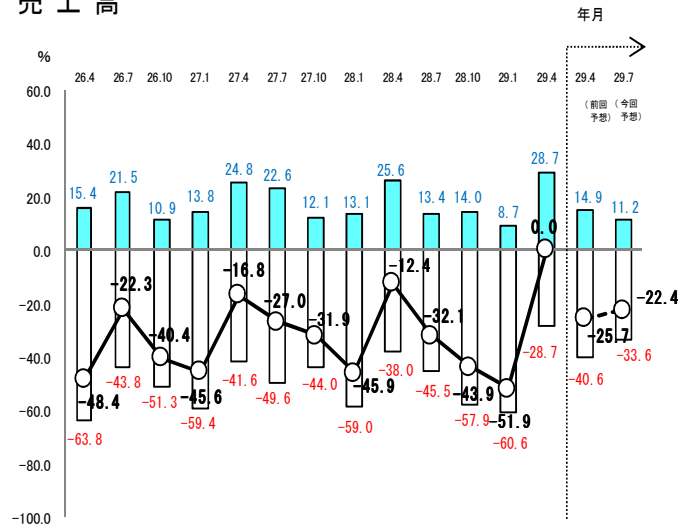


# ウ 小売業

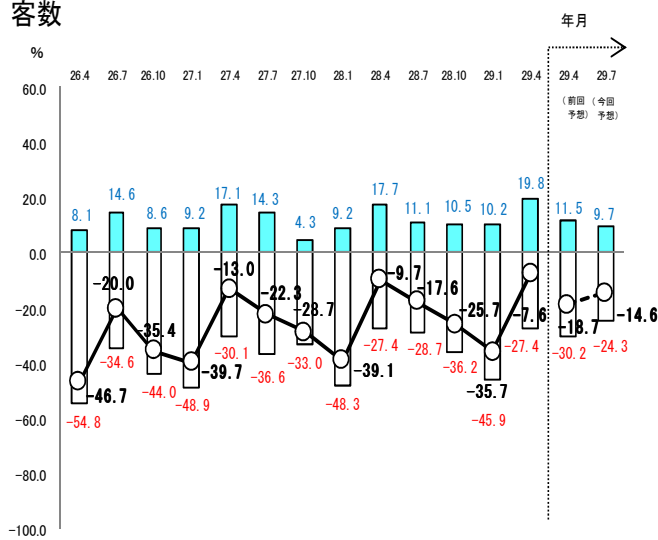
## 業況



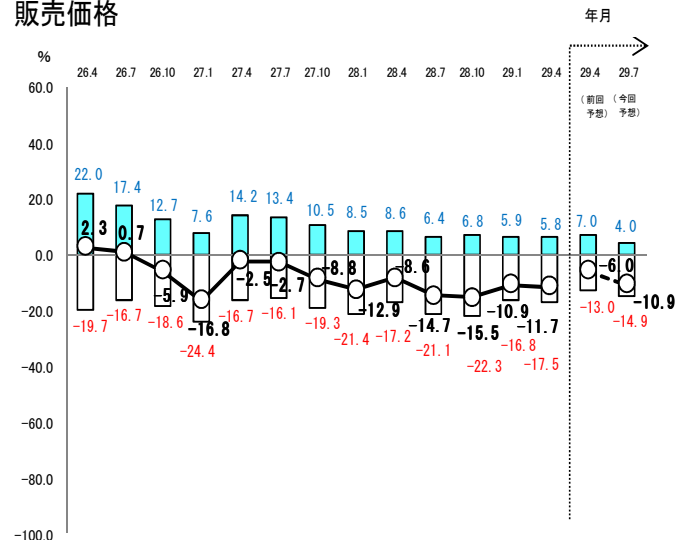
## 売上高



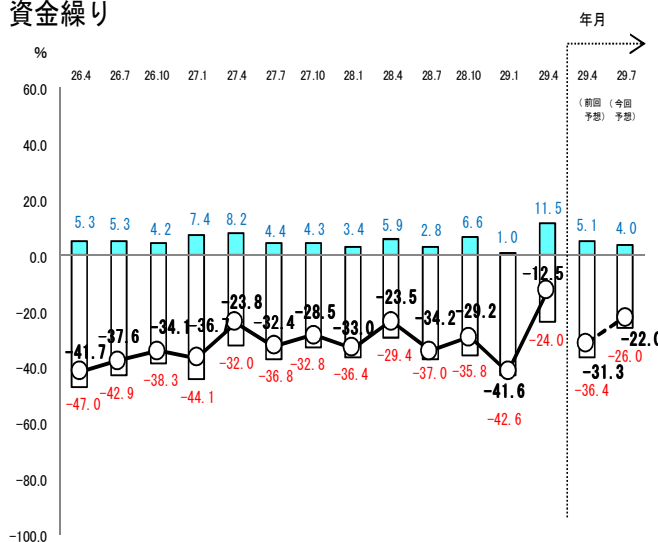
## 客数



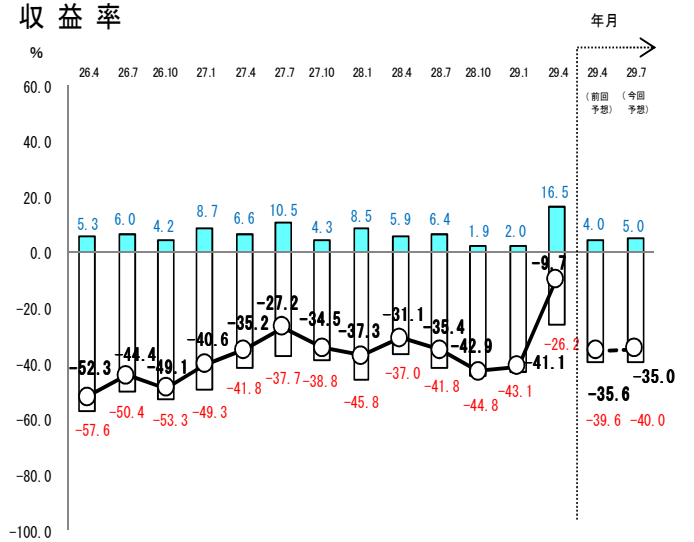
## 販売価格



## 資金繰り

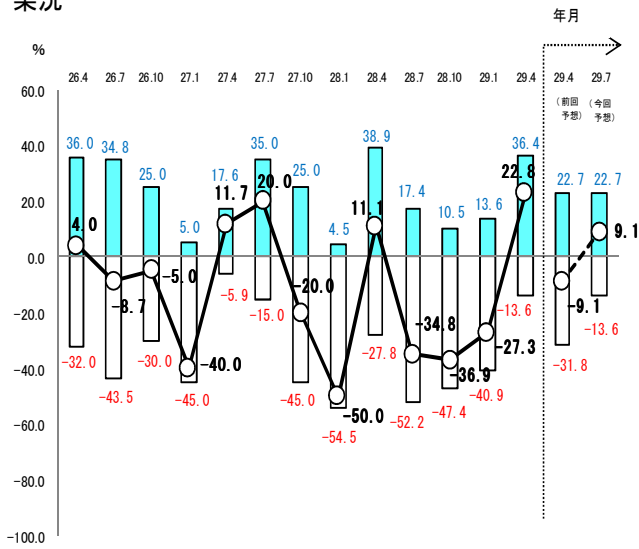


## 収益率

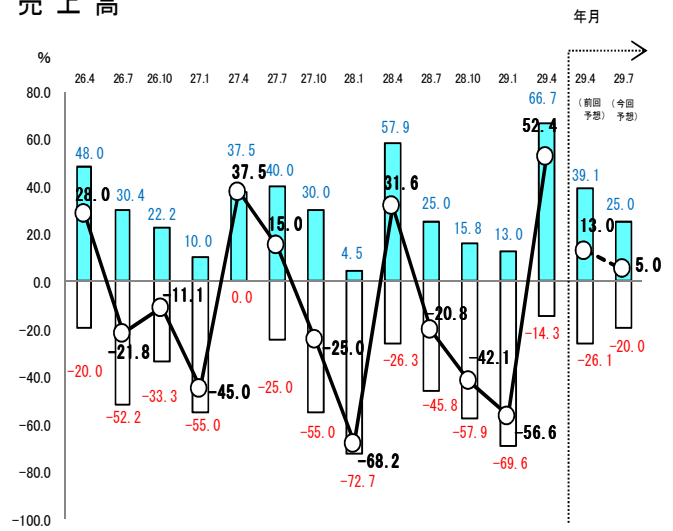


# 工 卸売業

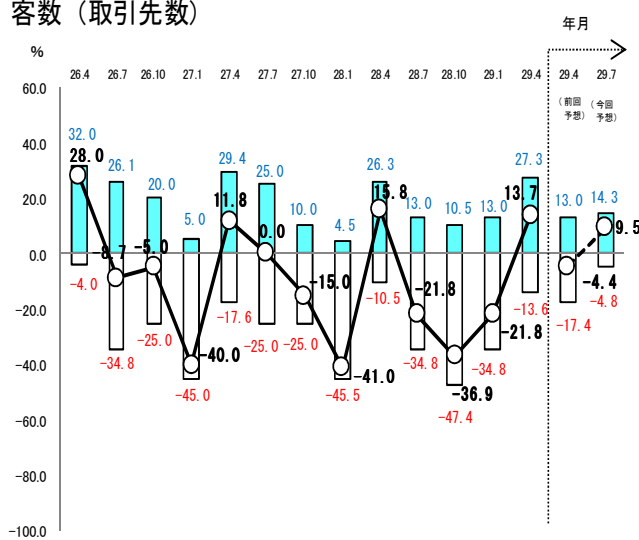
## 業況



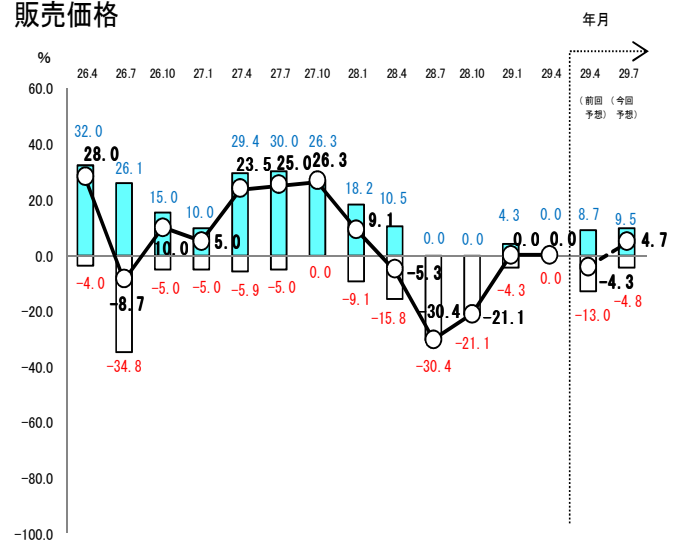
## 売上高



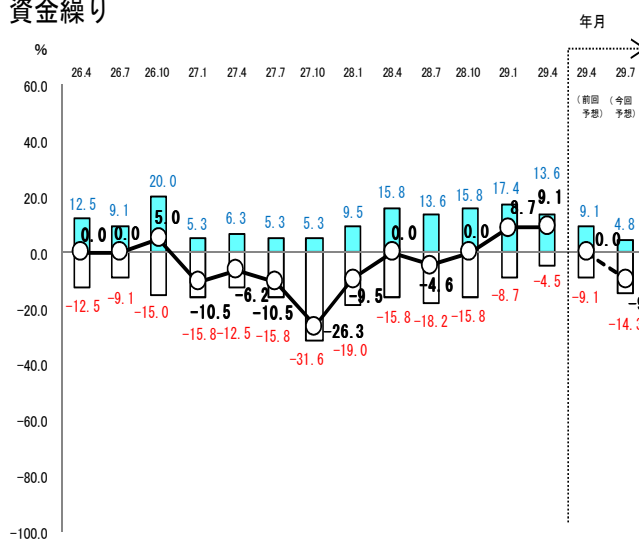
## 客数 (取引先数)



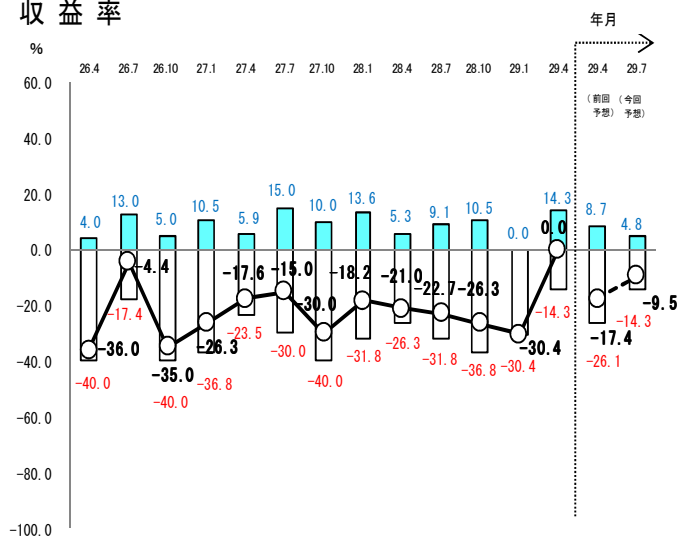
## 販売価格



## 資金繰り

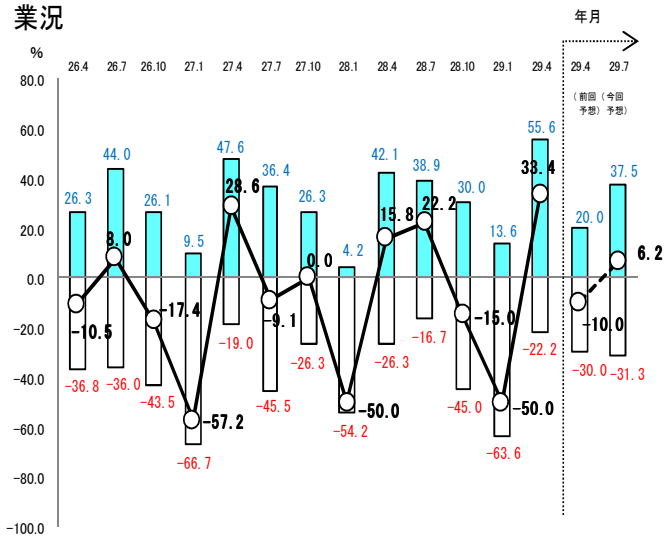


## 収益率

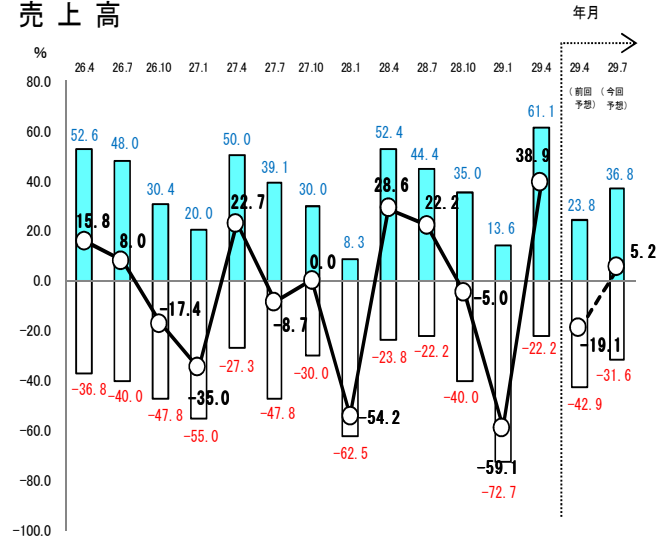


# 才 飲食業

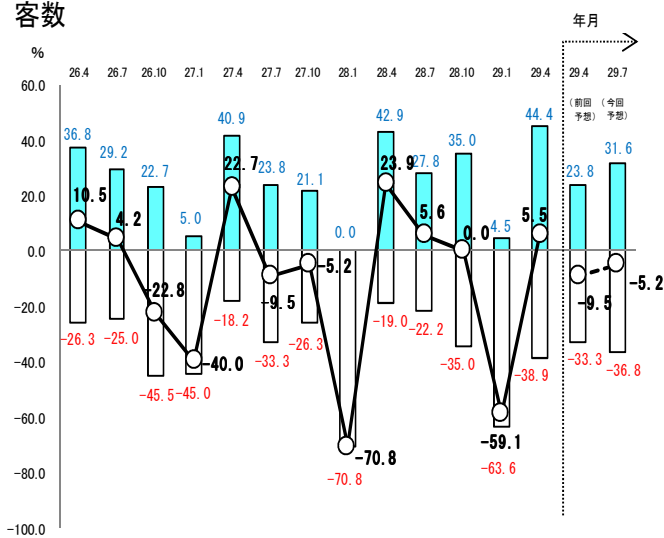
## 業況



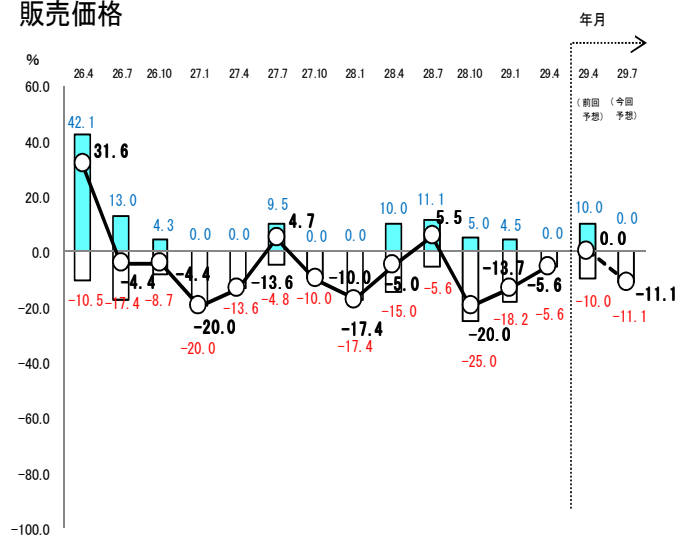
## 売上高



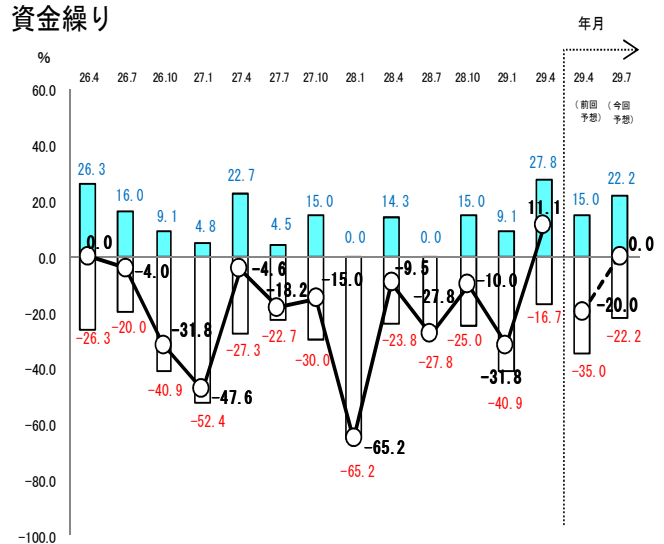
## 客数



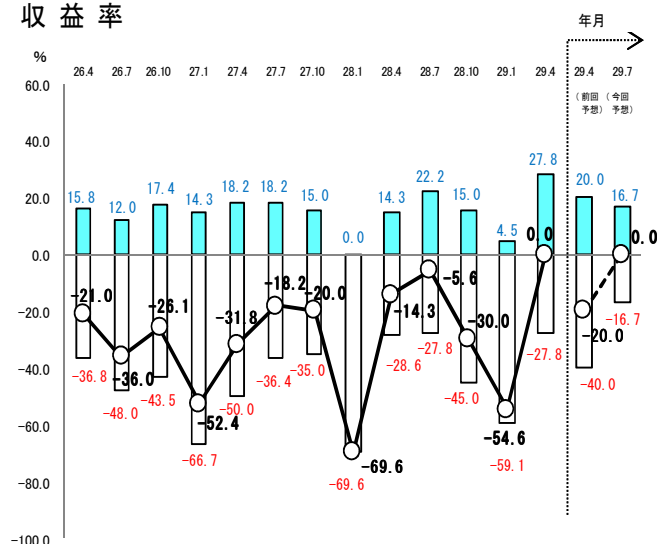
## 販売価格



## 資金繰り

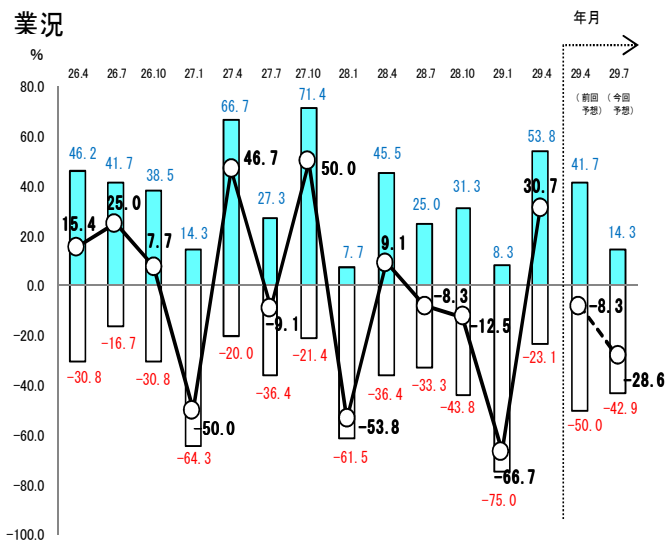


## 収益率

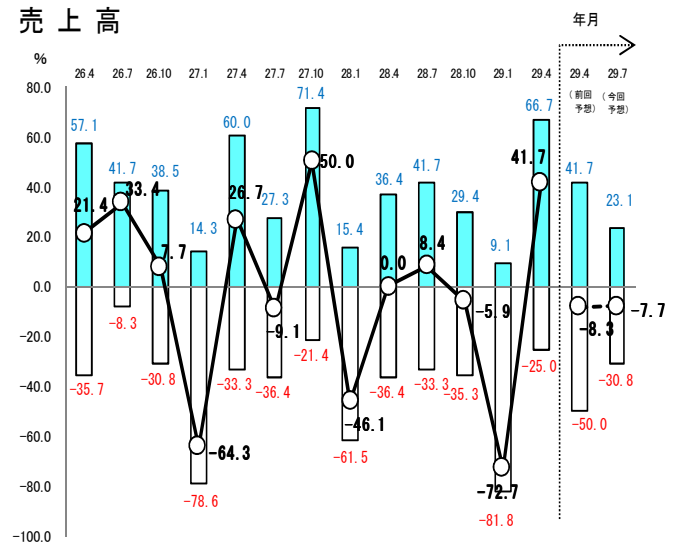


# 力 宿泊業

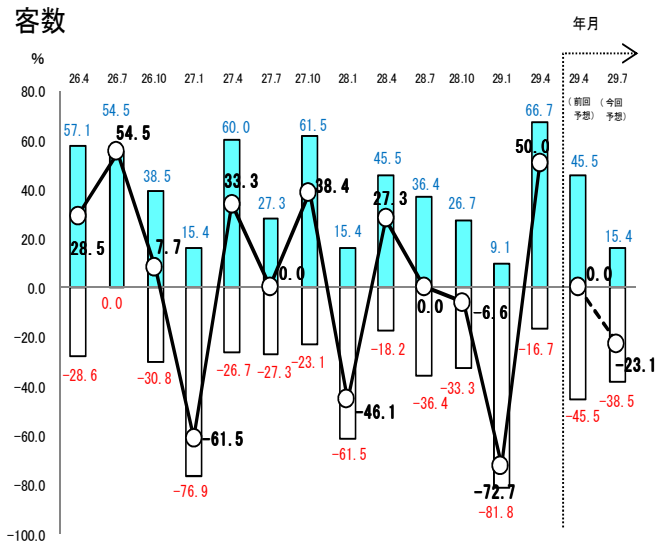
## 業況



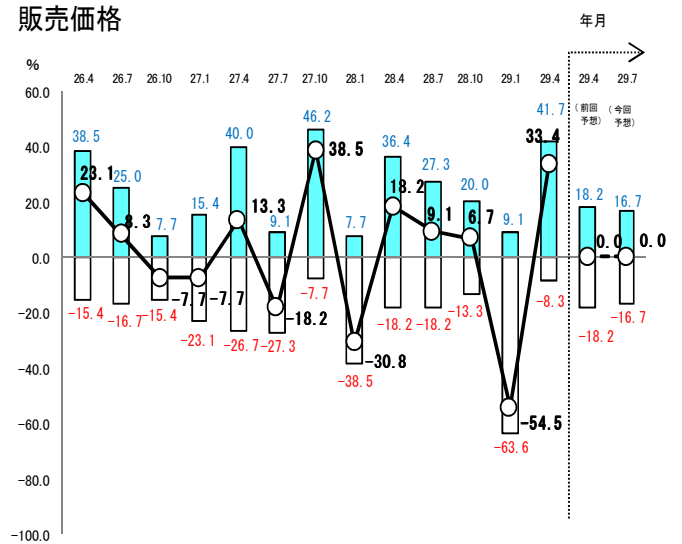
## 売上高



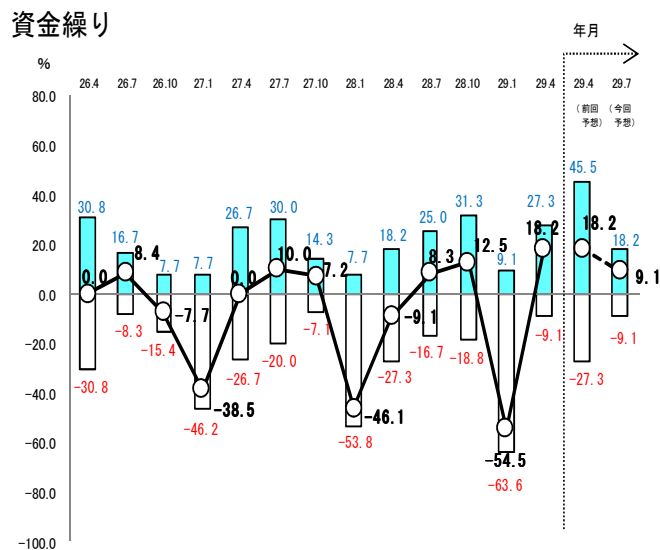
## 客数



## 販売価格



## 資金繰り



## 収益率

